

見 与 而 治



5496

旬 她 國 3 17= 地 那 可 分 去 美 加 成三月。凌 補 意。 刻 讨 文 るかくる 則 越 堂 出 猫 些 速 秘 技 游 遺 () 编 李 秧 漏 而 父后, 弱 汤 海 好. きき 不多。 感

弘 面 典 路 為 看 2 敢 事 加 多多年又 月年 场 沙園 又 10 冷 風 为人 的 まえ 汤 河台 老 为 金 多り 造る 要 3 松之気 爽

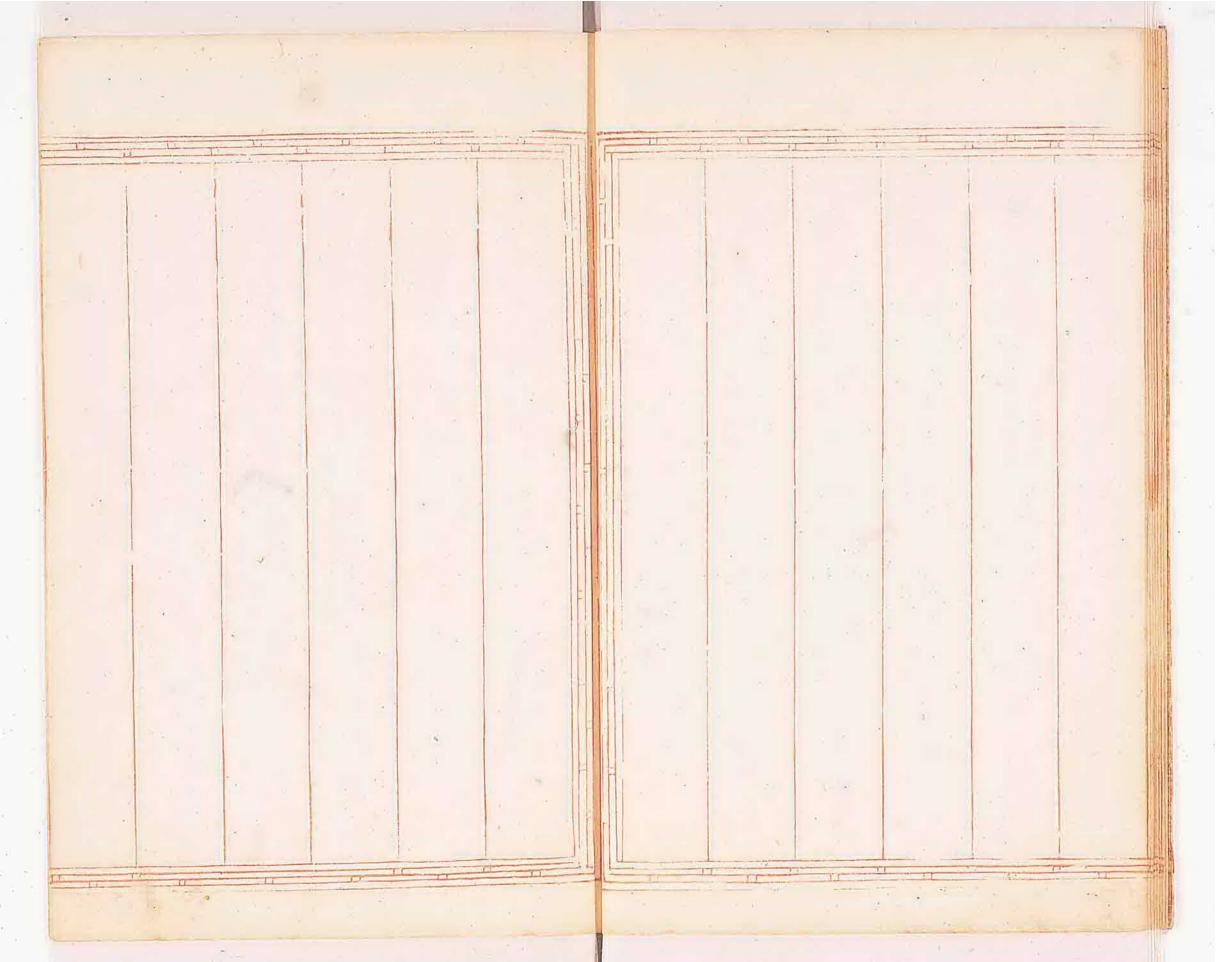
热 徴 嘉高祭业 孩下 2 金 能 3 位 肠 津の ある 劃 るう رق

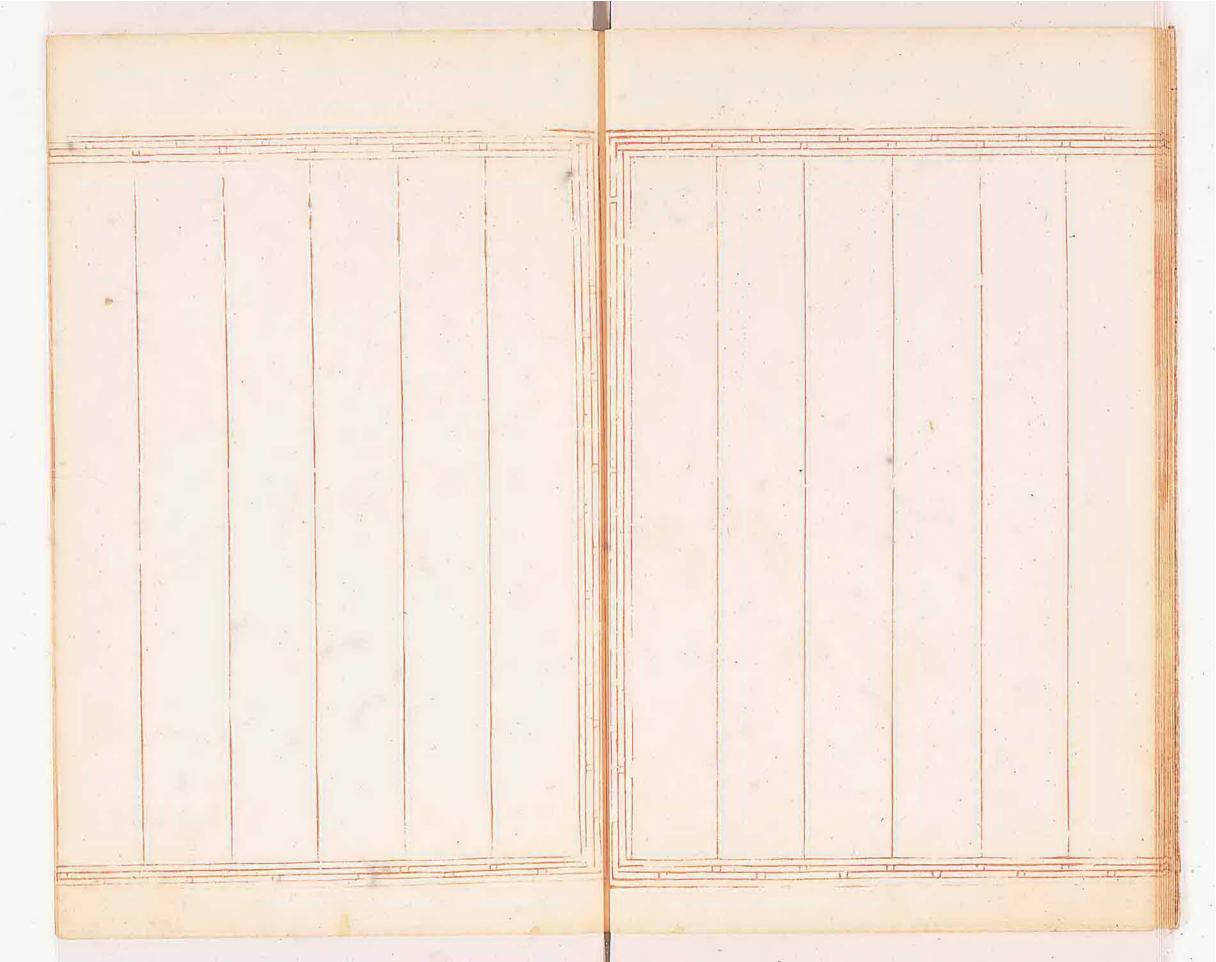
A F 加多少 ニルスラ えるか 羽 疾 63 24 た少う 132 15

かとかと母はあります 一ちくく ていてもろう、そ うすべろはれず かつつかりろくころ 見しれようななから かいはからとするりんか ちかられているようけんかん すらかとよかういう しかかえてとして けんくくして大つとい とろりなているうし 100 てよて、を 快くのよう を見し

そろう をきないとろうしかいかせきま いるそんかとくろとうれてころう かと国のさりくれいろうくるいとさ とのからくていろくというとう ころうとかまれてころうちろち のでれなりしっとくろりゃくる うまるかかられることでくる るするなちくれとせのとうたち よってらいかろちずくない かくてくるといかたかでろ のうるこうのとろとよりまし

ま~ 苦到 するまろす さめて 放力





	妆	卷	
		世	
		在神经	
	麦沙利	多九雅	

いゆっついのはようあるいとろうころないよ うるというとうなっちというよけんないかり はくはのはなるはらいのからくうなるーへで のきてきますりとくなまけるとしてまり いかりきまなますべいくしていてい よいるとのはなるのでこれでしまっているのから うくいう文明の比のあるてつるいしへもの金の 一つせのそれとのはのううとものへきにあるの いおうくつよういきりなからうり いようちとうとう していると 松~~ 37

ではるからうないかりましたのかからかった というちゃくれありるはまとかりくときるろう うなればうのかとくてあるってもかすのや とめてくかみついのかのまってものでのよう 六年のまりりしていれのからしてちきて山を いんでろうかの二又ハのつようとかいのつく しょきこしなる

いついはつとはきてかろしののおりかいるると えてしるとうとうないないかんちろんちろん むりのはられて被父母のようでいるなから

なんかきろうなくといれるとうあったく かしるようなのとうとのかりのとうので 後のおうできていまってもなくしろうる かるのうのもれてきできるとなっていまってかっていたっ

ていけているまでかったけったまでのかかろう いてくてかしょ りふちのやるとりますなちょうののかとちかった のでに放かれる墨門をのは低ろいろうよ

れるようなものとうないとうなってきるし いるのは

情上上上

そのやるすんなというとうであまれ

(

えるかられるとしれなのかりとうとうかりる たりいのもちものやおりるとのとうしのできまって いたくなららかのなるはちですあくて自己海 からけんはできののいるのでするくかいろうかん れたいなるへのくろや世のあきけるい ていてのかかっとなくりろしからかってい のでいるかとうできれるではから

これのでは、





い田のうらびかゆ ちいゆきてからはるのかれるのですりなられ もなど大信ないとう人か いるのうとないはあったから 大をなるねやっていって

聖を多のサ なので

大塔宮

唐

二日をアサーるにくいしろわのる城陸之保山書 きるかないってきれるかとうくんでもつとめてすーと でけるころのとりのでからみまするさ きるあれるといううてきしくるいけならい ナインスはれるいちるいととしたころうかるわ やしてなからとうころをなるなるところいの 多りくちつかりるありになるのかくてもかきる められていると名八版のさいでけるとあるとなる 年のかうるまで一根でしてかっけるろうなく るかっとくそんなマーツをきかったして

の風のはよく西上川までとれての今后八地っく 松きのあるますよりこれはあってかってっとういん まるんあやうり間とんかしてたってはしてよう こうれんなつのの山畑の中とういかくうを そりれでとうまたへのりゅのなるとかからいと うたゆるるととうとうとうしていえると とるのかっちょういくまりしをゆきとっちこ又 のしれつめといいてもちらいるからるはそっと 川ましてくそのであるかられてるかのきていめて ちいわく我とろういのかようと高山かか重ま

その調像してくらるすれんとあからくってれ 月中二日のです事思をを経るといろ以上へき いつる国のなるとめていくまるであるのでうかと のでのゆうとうころをもせくとうことまるまとかり は年の様とはくろうとうかろうとは するともとうののでなるとうきとん かかっかりにからんとはいるからしてつかっとう とりは多くゆるいれたのかられくは他えて三年に のでもあり、まるれかっせもりにはれるのでく かんからしていまりゃ

えずれできるころのゆうかからいるないののでき もいるでんとのからいくい





の見ていると名りいけるのを見るるのはうろいい 之日内あつまうないと子がくはでううろいいを多足 とよりまれずりましいるあるとはまり のみっろを以れるとんといい田村ろをゆくの風 あきふいるとうちくなしろきれんのれるのか 電子名子人、一路写会接至町与かりままた ~なのでようの一きくよりますしてしてものりて井の 過からそんのかしとうとれいるからまして しるとうりをはまるのくかはす まやりくろの食きとのぼけてありるけるよう くそり

のおもやかとるは、やりからよれかのつく 大のうれてきらしる格かってるるろうの山は のはらくとうとといういろういわかとて後水 といいれますいかまれつつころとと言ういく こむしていろうろくいつとうなるとして ははるこというないというというとうなるときので 名とうかん





いろくちっともしのうしたといい かってうるできてくるくべからはしもより坂を数新

一个であるとくなんくやくてつのは、かくゆくこ いれるのうらるのかはっとうし アムめの何とうちならのましろけんいとくろし ツるのからっているのなかっないちしていい アれら表称のきろくるとはいけるるるよときと まかられるよりく気機のの事とりていつとしてん 老のよねのろうではめずいきではの名をついける

ちあるいではてあるとと ありしていけからけかととあっというこいはるのるき 夜は一かつつるおとうししてれいのたいころ

するといろうう かてあるかのるよかくななちらうだれましると からからきかつつきいぼんかんやうためるちのい

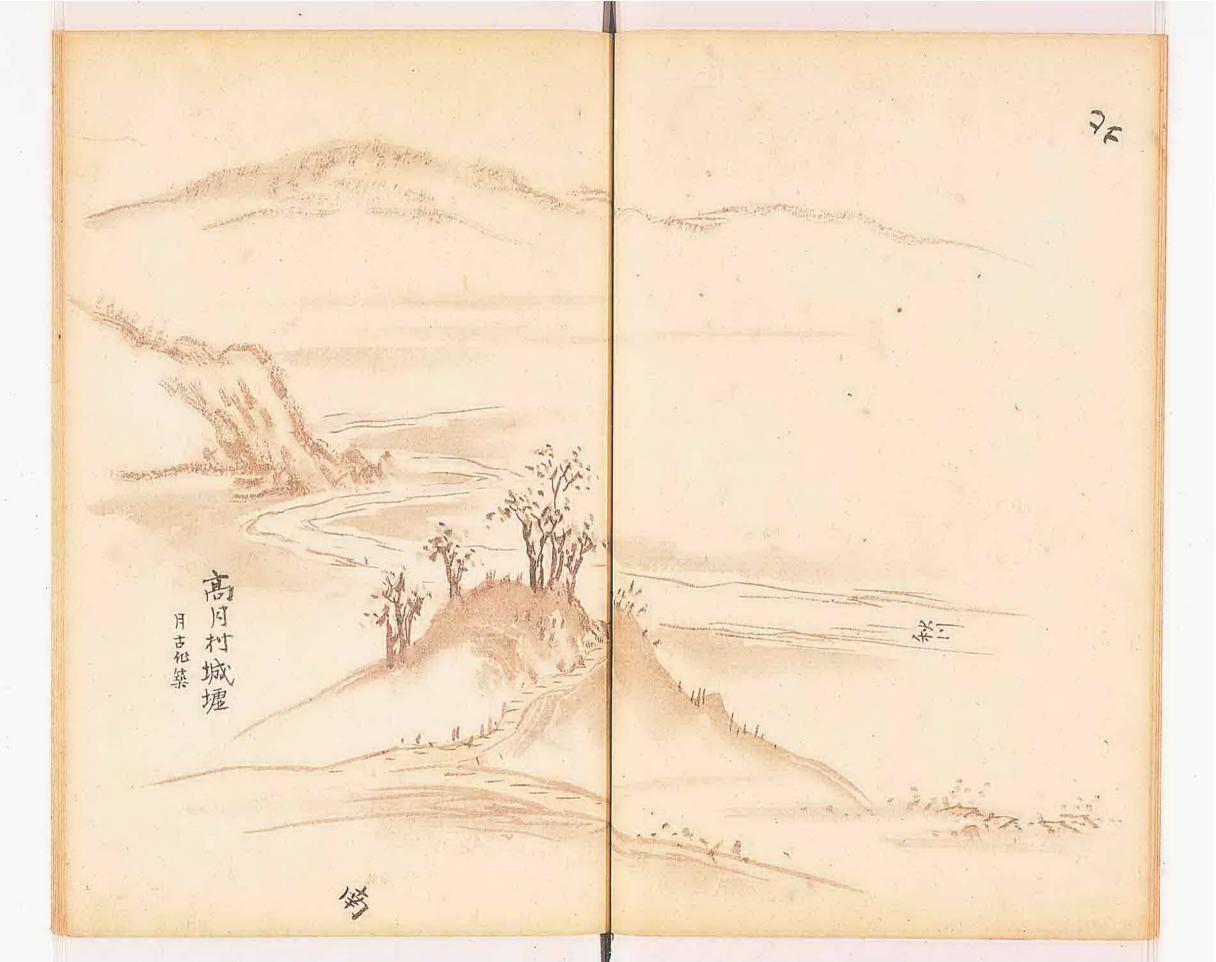
回白之れ者本な活之之一人像山の成的上意る る金の社がもうるののかでい高月れる 居さのりにるりかりくりしていてこれのうち るはのうちいやそ後心のつきをきむ土 かのきる井のようなんとあってからからゆ

谚 着梅の一ろからりののころろ 行よ為りまめとは来る うりつとうそ てかきるはそそかかち なんちのはそ移島 Sime spign きて、ドとり うつかかること

南

国面をとうってぬけるると はなった 城世紀のる場でそのとすいまで高月村の 製造のとか うまのなるとうと うなのかのよいけて からを虚をといくろ文人よかです 能山 かしてる中の何らくす 、富山色はたると海井 るちきるう

代目れたなくまとからたされてぬけるかろれ かろとうではいる ないかろうへ よというとおきるんうのうまとくるよかへきて 子の子ろれる ・あいのようからうきあったろろはいろうろ 也向令 けむはそれでわってんちまましる。 からいろんであるこれでんじかい 我们的温度上面的 でくくれいかけの くるべきから



る日よののあるれて日秋きちしょくしんかいをのも いえのときてるよといてかるけっか 是人 、るためましているのかのとのというのはという からいろからからけんにそけるすーつか くねゆいおさし はまるものからえるとりきまくいろうとかのなるかい となってきつうこうのあるかいるしゃたらんとき かしまやちとのつきをなるくう ういうからのう と山路をゆく

るかからちなくゆりなかったかられいところ

れるないから山下たらつい りぬけ



原以打よ 為のはく あきんまといるいといるはっちゃかりもちへり いかのうりましてくるまでいきのもいちい

事村 遠沢裕 鹿,温泉

いはあきるのとなれんなるのでするとうろう 日もりしているというりいをでし ちくとき向きるころでもしろけらくけか 山横をのいっとうしているとれてきてものう ころいないろくろならろとろう えんゆきせくてゆきころろんのとてと ちらて大人はれるか うなけるかっきいほ ようったおのまる



てゆれるうつおのちにあるでくかきちりと くからいろ

後とうちでうて公科村もいろこ後を打るさ おしているのけるまけっちゃくとうつしゃ ましょきそのでつるくのまけるゆうしついままし うちかはしくうちろうと思いくしくべめいい 家あるいれるかへてるののあるる山をころとかい てんゆうろののちぬととうっているのできる しいおかくうしてきなりりゅうけってきるる りんからるのであこうをいめらせるろうちの下地

くせんかいころもっていりのあれいるちの布といく の家のそとうないるとうなるとうなるのかときても私の のは一成かといするあののであるいていまるは 生の差えているのかますのしていいろとの氏 のは一時れのうとようしいかっているととと考え うて ぬはるして 鬼婦ころろくと田ゆい 神寺のでするほうな~~ぬかねえるとのであう しめてはためるしのうれるのかっきなきべいんよ ーよりときからばうらるこれとうのでのあるるは し山ののかったってきらりついるったの



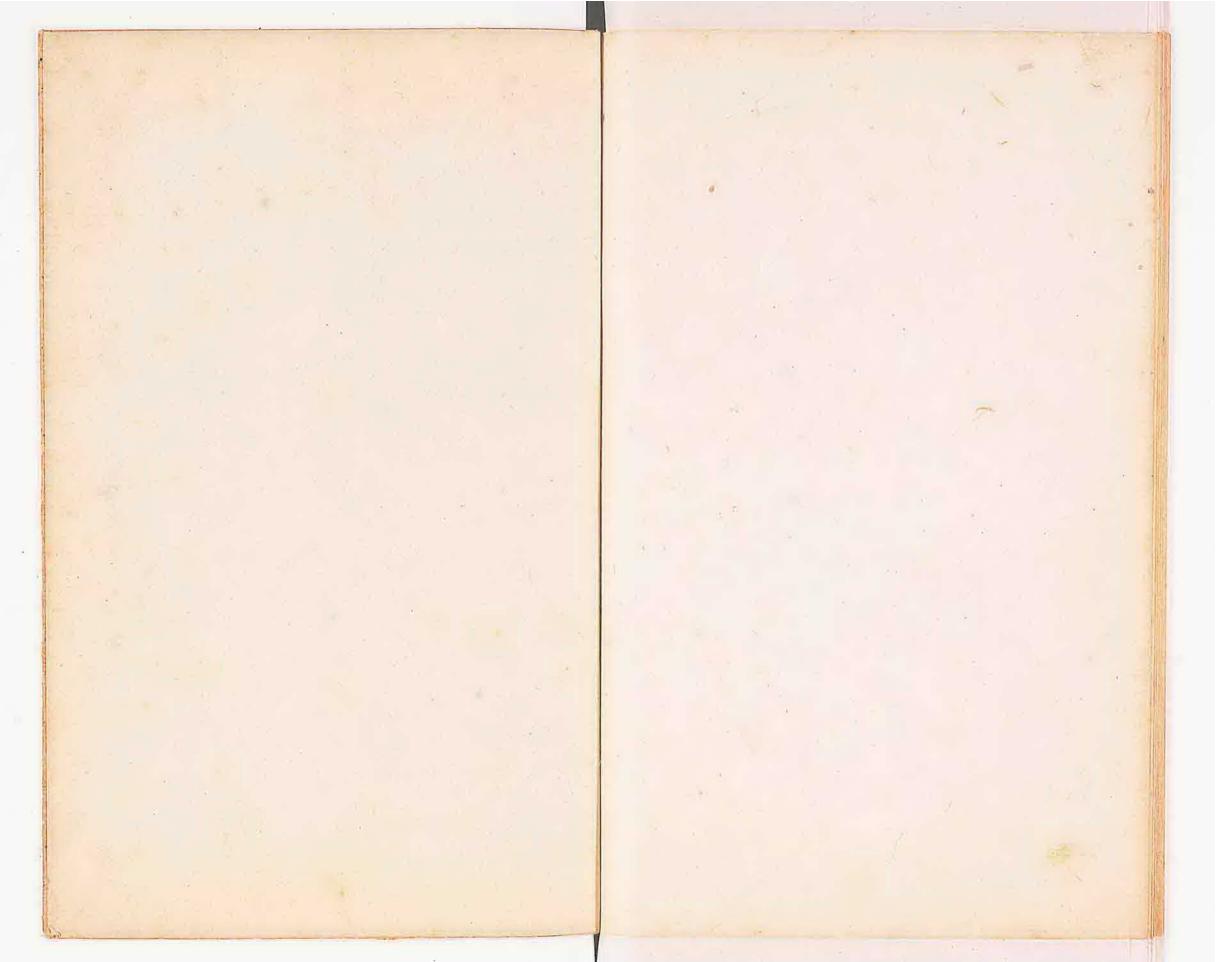
うなおというちろというすつ るなかとうとうる のていときて見てよるうくもくでくてるる人の 七日中のからうからからうちゃのある きをあっているからろう 中の家はぬならろうからとかようき強なと うしていわっちしてはかって かっている の子しているせため もあかりいりつかっと つるといく 之子以

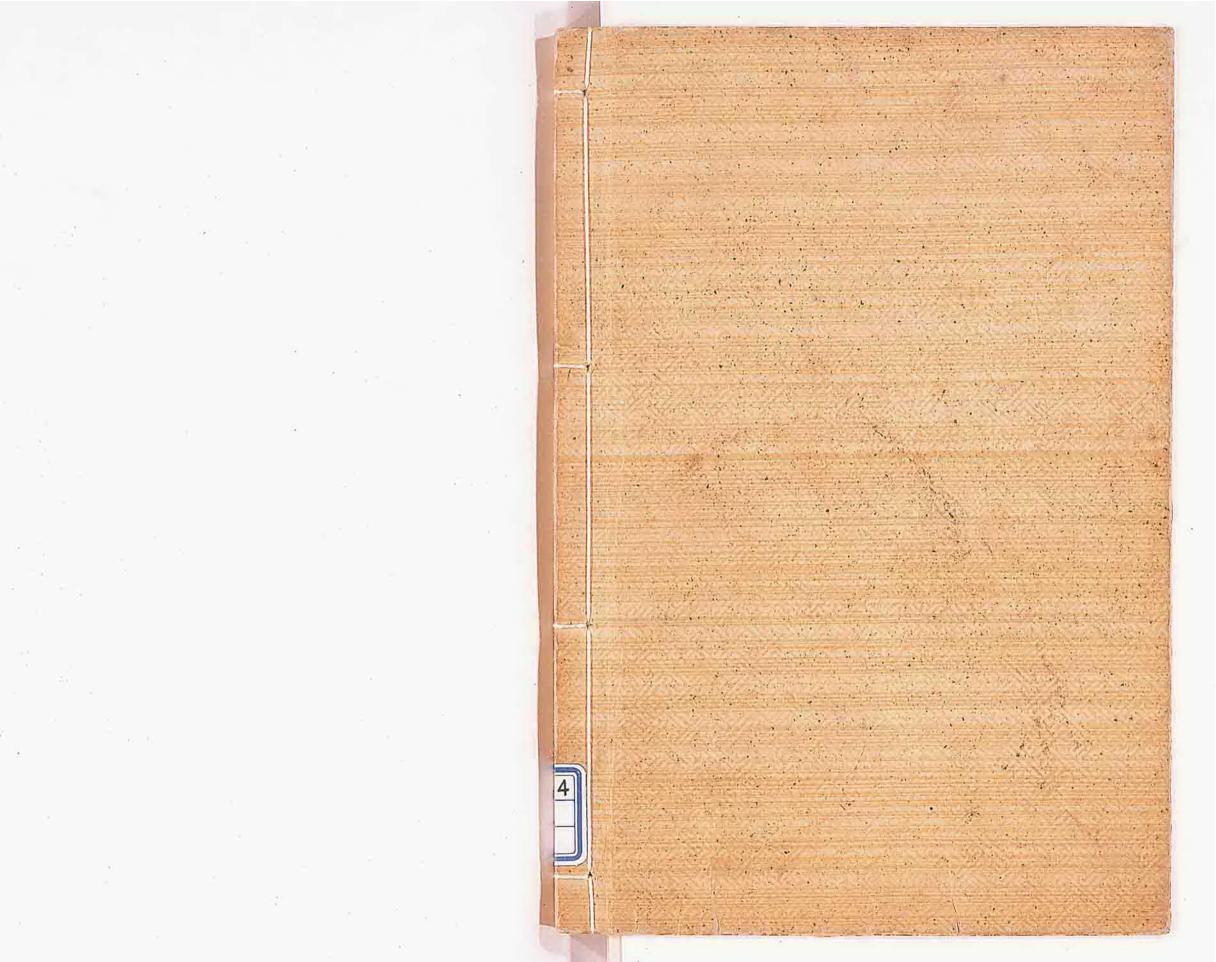
二供尾村工工人能百姓亀五郎 所藏 鑵子

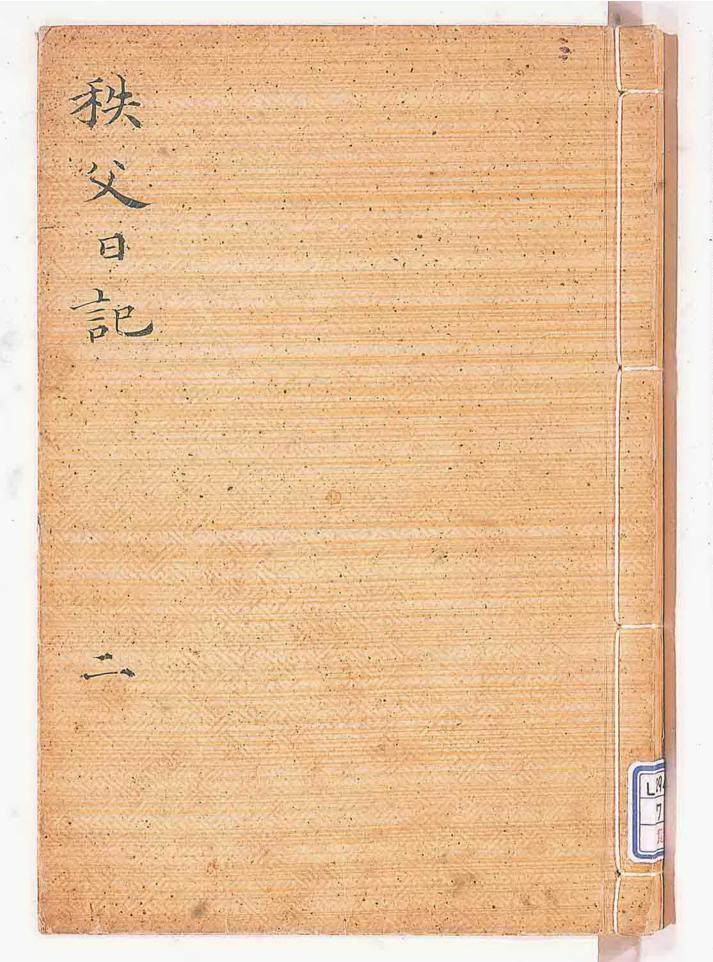
島がキモヨウ有トイート

五寸五 正多之 ロサシ ウスホリテ見エズ 七寸 彦サン ひタシ

高 八寸许 今帯をなりたと云









るなりてきいくしんとうりの直竹大海へうらく をのおしまってるななしったことのかとから はられぬてきまかりかりのまは難をいん であっていゆしょねへのいかってきてくまい そうかのついくとはですうめかくう秋文の少くよ るかっているいるかるでしてかんいろうい 八日りてをはきる人のあけっついからあれのから おかからるのうのであるはりのころって しいるあいとはやとないかりのは道のでくろう いるき別の小のかるからつ してるる

截松~ 七台七三 如何 事は民田

あたっちょかりよれいのきはかりのけんずしていく 4のくる人はんきのかったいといいといい あ事られているとれるのかのかくさんと いくりゃの歯の氏でる一种生のわれる町田氏でく うれずいは一年れときていることあるいとうく してもうれいてもりきるとれていくい 七生八八人のをとうのでめてゆる神生ところい 世するんられらえずくなるたのをかととくとなけのる いってるもかってをあるいろうとうとうう りの田氏をいれているますくるきるのから

てあるとしくとからはしてこののかまりちゅうして するしおのよれころはあるくるのあるるまけず 九日をいるはるちまからのまりちめても からしていいいっていまっちゃっとうまる みるいいころ とのできるんちのかく名の日のはらる一のでで からうのあるいらうゆうできるおはのしたく 人でそのりてこくとの平ちなんとかはまりくてこ しとはあるといういいのうなるときるもんよれらってる

このうとっていくれのかりっけとなるよう人ものうれ

十日され町田氏をはきりてしてあり次との年よくい ちつうかいおんべんせってもつとろしたはっくすり 大越民生人为一凡 あい上の中ようろうつのほうううしてい火事といい でしているのといろいろしてとくるもってもう くかりなといくるかりきというからう大いてきと後欧州 →一日初らるてするとかりですってもつ相後の いめついろうりとくののというかったのして ですのといんあいなりとあったるのかっとうりかき

てせーとこいきなった人のかりょうりしょちかいおとの ろいろておかつのヨーヤイゆきいちれきまするはいく えるりきりおきしばれるとなってるからる日からは られてあかまとりとめるとしろうと 中二日南多のからみ日のうのはまるれのゆうと

りるたりのはからいくとりとすこく 秋後~~いとりからいとうえんとしていいはせ 年もきてるなるはのななはいろいかいろうら南 あるならんでからいる人のでもそのみけのをおれからい

まる田川まですっているのかんこうようのかいからなって

るとそのであるからるころでんつりよりできせるの からそうとなっていれかってあるよりの てものいろうなるからきのしといろうため できたとうとそのうかいられれてう けいいろういろからっておきる大変の軍中村氏いつうへ わくりたき文書とそんととかほ民のおかよってかられるん 一元的一て兄の解形又小甲在了物のようる的歌は るじてお名の た人はのすりよりのなとのくとこれるできると

中村久多的墓所古碣



大宫に里正中村分了ゆ一名古名五五通

袖 君か 1

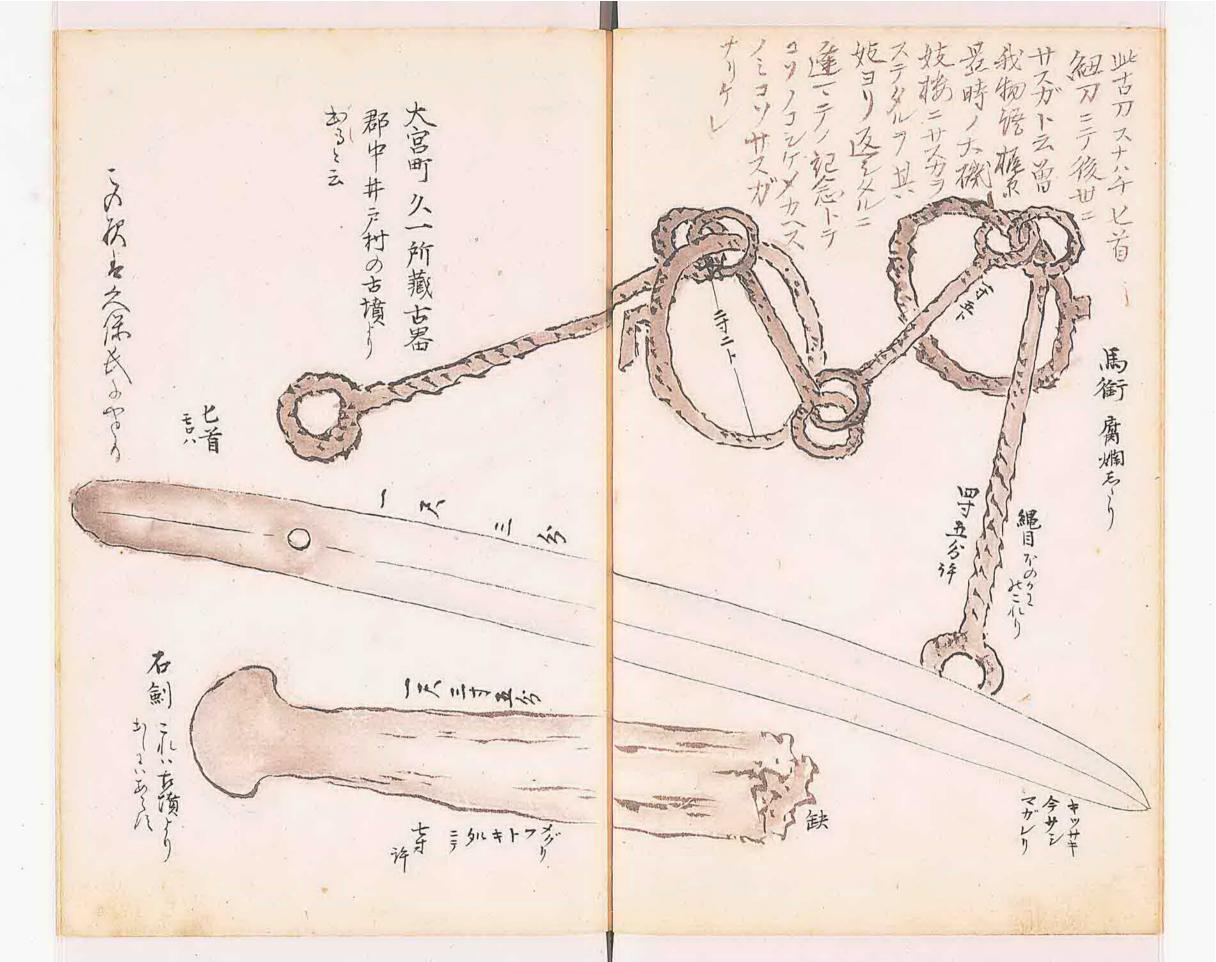
> 6 Z. A

なる一本

多人人的地方地名多特体 可公的な事があ 教師等行地投入者方格 しるける はいる地名のな

多多数的过去的一个人的法人的 第120万分的人後で大助 もるまといったって 悠火るる 一多多 闻之





て月にのう つる不大のそれれつつまてき中山でたかりとの と白入とめをいめをかっとのやしかっすっととい そのこあららしてよりつうてものちゅのない 人きていめのますしのしてきてくるとののでいうう 的見社のゆう人子に應感場とまって必ららの屋 中でしてん人保氏のたうちつくるいとろう せのれのりんとしまっかいったりつまるかけん

るようないかつつりとうとはまること ク目のきない田山のははうしまってものるかる

中と日はきうれらくろう人起きよりくらきに降る ナに日かった大数氏はおりつうかりのとうしから 4人人名はちのゆうるとれるつきなどからとう わるからうちょうくいえますといったの中 というようえるしてるくの教をのうちなけるとろせ かゆきありつきというきても一意没しいかたか

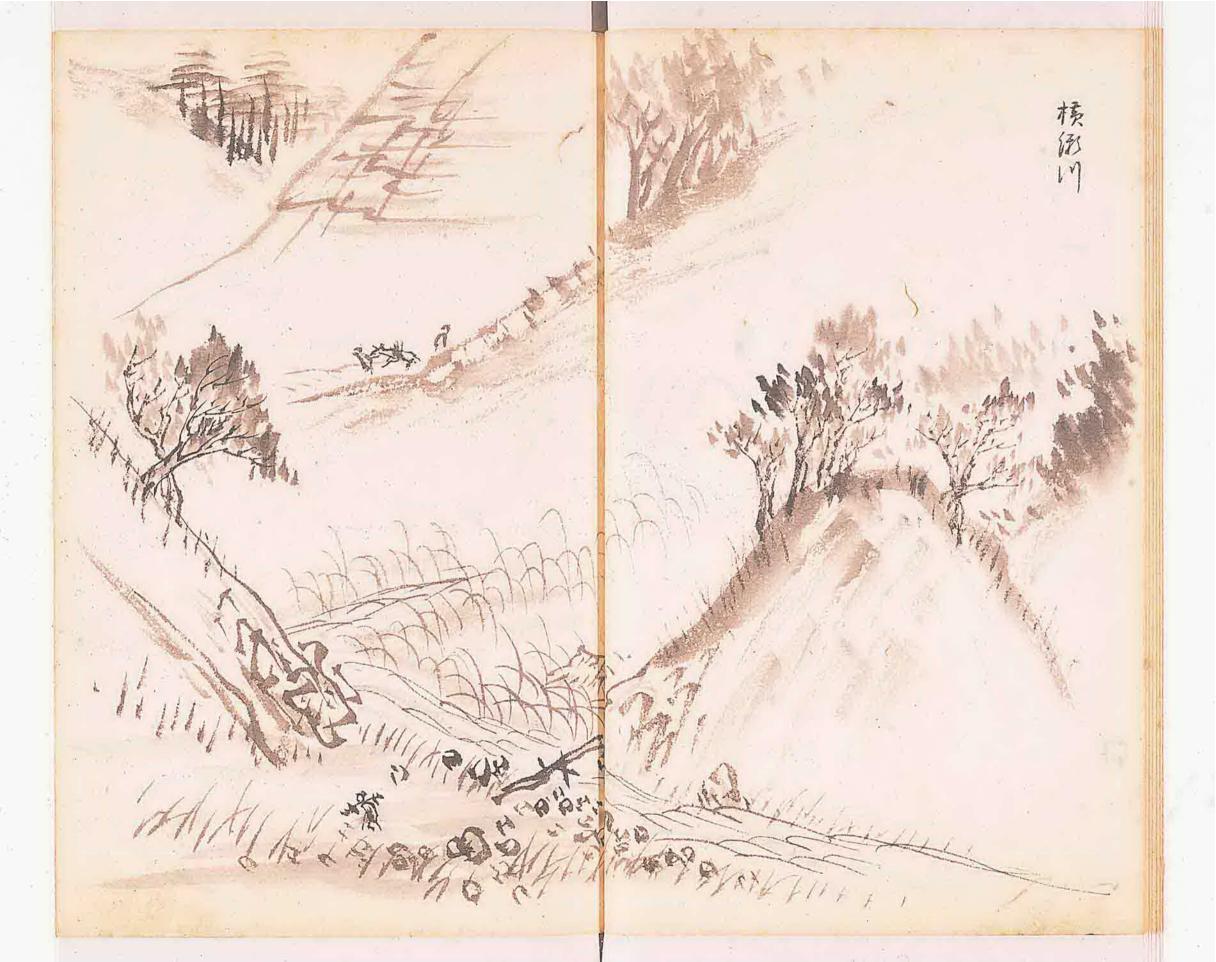
ちょいいかかっきのなのででであるいとうい 新了一个一方之人也是不是有一个人



十七日面至了了了人的人了一个的方面的春天 日かりのでとうというるなかくていけるま るあわっきしゃんさいのきますからてを田川のなって いかおこうりまでんちのかる人かかゆきをきまる そんとうくそのないとのと あるりついてんゆのれ上の年もかといときり 义、いかもすのののかれるかりしてしてあめのち しつんとうちき文書をえとしいっくらのをといい 一八八四三十五十一七日風光海上小七

はそのそうるかかってからいかけるのとお

きのかられてるの人姓氏のあるいよっ おるれる 十八日はもちんめのをあめののののかくけんはとう ら道すってのあしきいくろすがれかから 山猫ちとなるちをきなきとうつあられ 後のとううなからいつきゃっといういろ



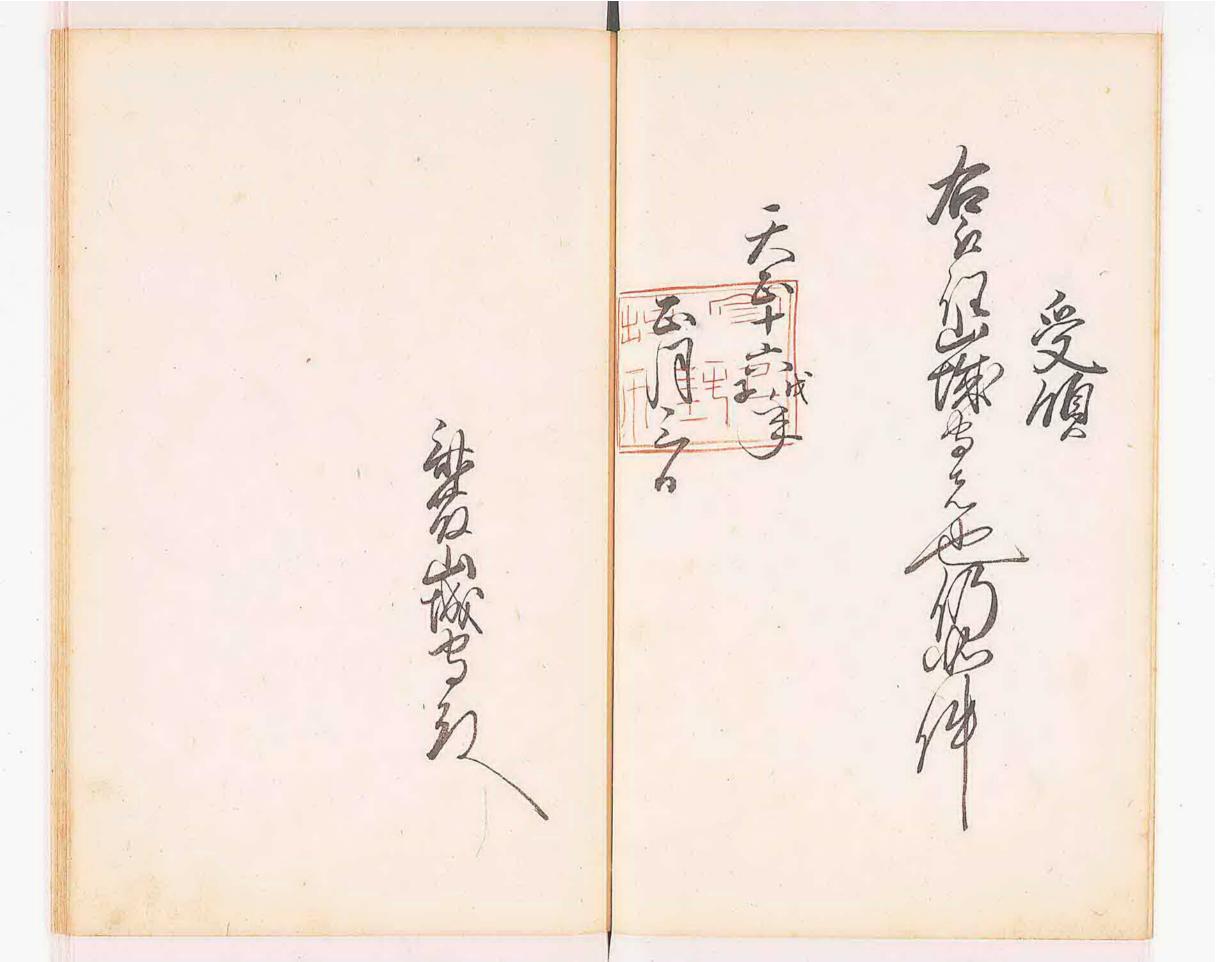
ならうからしょうわりなのではまでになって うりのでくろうしきしちかられてのをさ 山田村よ福な水桶といい教人ようとうてたないる けんているしかくなけるよく 经死明神但将大明神了的小社员的中人了 いかりはきかかったかるきてなのれるととりうん

でとおりかとかくゆくらのさらりでるいのゆきとまり 南からきっていてまるしているしれるりしなと はりる観音のまるいでいくゆうつくのもはきし きないときくないというできてはいいの

かけていとくの形の彼らろをかりとく の伊がからしているとうしかりるのでく でて対象人が子でもき文書あるととあめ、日 うりまやしているとうあるとするようへんて 利かりまとはいきつくてきからからいっくはいと しれてもろんかんと

柘谷村里正科為熟犯四藏古文之九通 何也也引逐一个堂事女军幅一乃五方女了

神友的で多次



子名

田 三か Sal sales

要 句句 7 h PANA I 富事

宝石女 180 かっかり

であるの うるちのナニ~

ナカロケるよのやとの人別像とであるまりし わしまいくうちいめいというとののとはんりくりくいと ちつとのくいくるかくるる けるのあれるとういうかしとういう事にいっ くているとして機能川きられてよるる うからくて大数氏するい人 かったらくれていなければれなるきるし 日うりてこれをせつとろしるととうつろろうと まころれというはは川人でいうであっ けあるとはそくいのといういるのろうなりまと

るのれるとするととく深めつらうくましたしはって らてきくしゃくしりれゆくくくちというかってるとう かるののなべいいといいからしてからいちのいうなる 三十一日のうとろのあるとはなるのいろろをうしと なかんとそろうのうろしてまくたらうかのて なるをしいうかられいろうるのろんと 二十日あるるのけるるころかりはく なーそこれでもではきないつるのまらかられるよ えかりつくりつりといういとちなるまちゃ ていてこのはるとうなっていくのかり



核 蔵古るる



いいのろう から 多有孩子之然多的

かららいはまれるとはののとうへんのうときますのり うというのでもころうくなたとろのあるういかんと タまれるまらいるとなのかったとくま アをですらめいいい てあからうら 医心かくるな ニナシは多りつかつあるののまりょ大地氏またく いくどのなんもれてり そうくのゆっくしくつきのうんのとかって いおいてくるものるっや 後的川後女子格とかくろうなるるなる をぬすいいをはるやりしりとうとうというか

めてしてしらかっているといきりまるとい 二十四日はきかくてきしんといううはしかってい しているかといろうないかっているというとも 次中るかとうくいであると大きのころと く者ののいてはき目れるよくかくから ころからきまるようなののうしはころいよのと のぬよべいゆあられてくれかいのかとをときす るなけるなどありていまでとうゆってと いし日るとしてねののけりよからってくろうきもう を重切でうけているるはのでですっている

きないなるかんで、数甲山のと一村かといろうと 事りありて会師知外がかけんとけるは何から ころのつきなでしてわかりといんせき度るのまて つらけりいいはってはやせいれておう へるなけんなもりしていきいいわりておとていると はでくとけるのうしものとのかってんをるとい そくをはははいてもしつときしくおのきもゆまって かっていていてきるてし そで一年家院多母母母母母 後上面要的人 しとめまくかろ

の山のからつしとう のからつきなどはゆきていいいかしかっていれるい 个情心多不少人人多好的教育人上以上聽 くかられらはののものなからすくけかいろく めてもなってもっとするのををとれれる うけるのはかとりのかしてものでもたまるは うくているからけるかいとうまちからの るのすきゃっとうはしかるないともつおい めつけっかっそうかんとうちき山路のけ 中心のできる日のできる川







はしょうちくれるとかられるとはその山ろのかくい 世南人投令のそれあるのでもよるよう 人ら帰居僧をうくらしといかりるうの中の ヤアーとやいくようのうくかうのかくいうらいうほ うろうとうといれるのののはれているときま 身かもろうりておるとあるためでする くすっているいろうすころはゆのとてあけるる しまねずられてなりついいであって 一人ようないてう らってもらんとくせるかつている していうわけんけましてけるあるないから

すかいまからられるとに数ゆくるにころしるとう 三十七日くかからしいつつしていからけてきようとう人 ねののできまりいかしてもかかっといれまつちゃ の物もしてるとうつしのけつしてのろうた 山とかいて人指といいる家の佐野氏してあるこ いちかってなってあるちぬかりものけら ちゃくらうそろうなとうなるので のはやきるからかっていてくれてりている おまあるしん ないるころのかんではんるはいるというとうな していいか



れるのからしているとうのかとからのうと るかいろうくまくいくこくなからきりるのや 着きされないとうとしてあるるの数 し虚を信いくゆあるようちろしたいめして そううのうりの情はないてしているとうとい 立つてゆめくなりますようよう人はあつったまからいる けいいのきのあかくとうくくうらいめてしまくろく うちののの風ちかといろりつますであるとれる 大山のいりのすれきるろくのちょうく りのなっかっている

一あく同で去的 こすと日つとのくわきいてしているようなたとうした このうとある

ようなるするう るれのありとといういろうとれていているよれる中 きれれるいいるおとれれてあいきろのあるとっち 管からしのゆくいつきをきなしてくりろれきつ りのかれるれなる人のあるとはるりほ

とんつくねつうしまいろくはくそりとしてきる いからなはいるとのできてるかられた人を以外人

前田村一路我也的了了公人的之文書をきかりとあ なる行人 るいえゅうとおうりょくおひとるとよりますんといくさ からいようちたっきくんといのこれとからよの年 かてゆううくちょうく人が氏られてきして

とはいるかんしているしくのちのやれとへいると ニナハロはきのつくらは一時田村である文書のこう でういかうるのうないのまりるやいろんろいい とといめとかいつし

そのかではいかいっとうののうき

二十九日ありつかってはなってんいたりしきる大数 からからうのでういが近てだけるくきまくといるう 山路でてゆわらないろろといろうんつしるめ よう高峰中はる了をかろう人気のはる うなしところになくとはではとうかゆく人なのできる のる日はっているといるいといとして いすっとってきのゆくかりしすれる事 秋きるからちしいているのはれい



いて一個出山かりるでえるとこのなられていて 民政分都形の民和へおて しられしてこととは

十万一九十八中一到 放人一路音墨 てはなる自己という 一人かちょう かはまで自己的知识であるる人、主京 天奏太京、路西安和京面回人给 あるようなである人をおりある院事多成 は見てなるとなったが、あるのかない 少の日本は一次多次的 るのしるをありきるるでであ 過ることのはる松をなるまりる 元更不少村分をとる一個大人 はのはれるといういいまでしかった 好气人一多的な思者の名 の意思と我一路上云はる

多多人



よのねくえ おととうとのかつるとのるしもしんこれからのは こいろとえるるのは質から 色のでうあいられるでとてとていまくわくは のいうかとそうとれるとうあるるるなく 又中海田之学的工程明神之人武为的四神 少多一种数少食部了多个人什多多了名 好人上以秦海部等后村の行う方心就事と 形しつれてきましてあるれるのろうつくから めまいると続回氏して山の国書助して一方神 そのより

掠神社神體 然長三八许



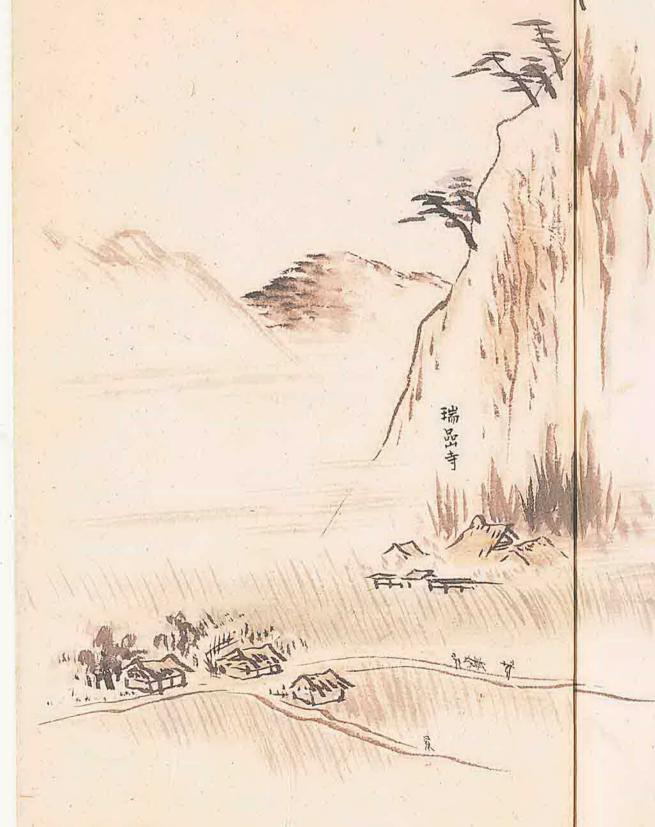


くっからうへととからいろうとうしている かんてきいかってんとくましたくかられてこう けるいくつうななるときつうれちんている ぬ日うれるはくのというかからかられる 4かららうといるころうちんでそろるか ったいいきれてるるところかれる民民なくる かからいつってとおく 動地というかとうう いいきからんかくかてるのかろとうして そんかしからるべきからなるはのかき

4んないろうりのかのなんとうなのかいと いてはるなるいとしろしまのゆくとく のそのからかときようくまのらった路をいかっ そしてんぐりちますりてめるのをはとれる て思るお場場ありるりつらめり、上腹の家 いつかかりというなと 科文中もうなるかってきのるとなったかん なるとゆくまの山里いよのるのこのれものう いらういろきこくまのでんといっていい りよいろうのからのできょうろくのかとうか

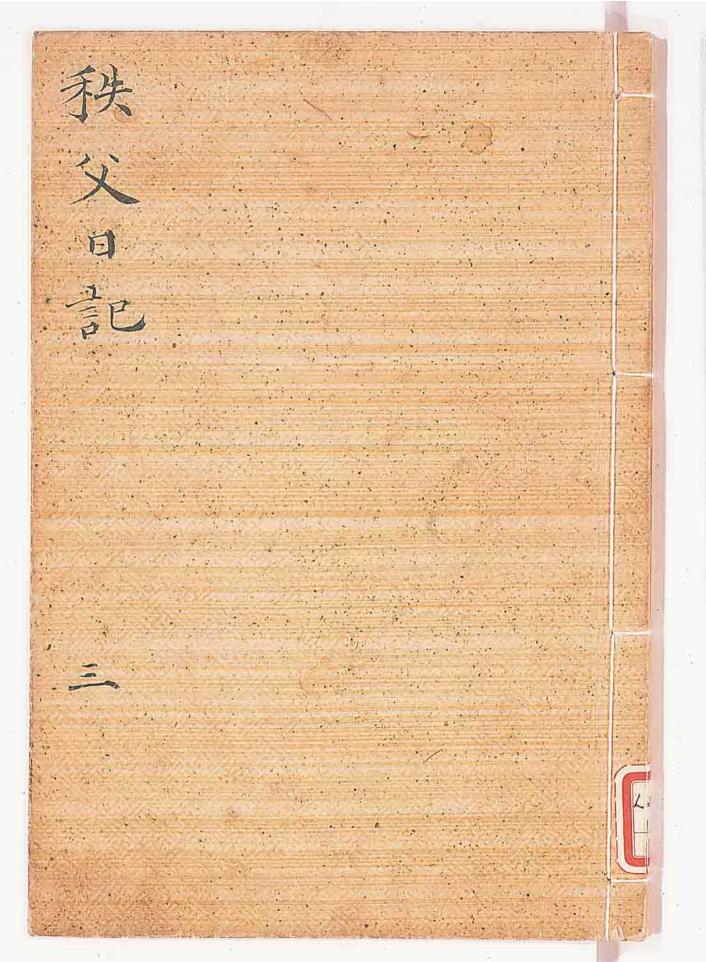
まっていてはくの山畑田ののは山のゆきいるへ 人为」るころと てつんかく ううれいく るつようくろうくろくろのあのま とのできかんるかるま中山西 福島るよう とうとのはなる 松内ありまでくれる かるか はのからか to the st

いるのからわらい 八らはずねろう



えんらうかるのめ くはあると とういくひれるんんというつ 上かずしいきて Y CASA





うしてもいるとうしとはてするようないと 上つ年かられていますると見ぬといかるる むけあれられていきる うゆうりくら くれるいつというゆ 八しのその りのっとはいかのきしろくらからん るけれる人の人き日とう たのる三年ていく日はありをるまてころいからんと 八一世川からへおうちょう中 あのや らしてのおのたのはころゆっと けんしまって あけれるいるつのかい もれかゆうれとなる なるので

あってえかいれるのからかろうろとかくしていて 我なくとうかんまるとあるかかかいくろうられんと りんろうくとうなくろもしそろいろくのとりとことけると はすれていまくに申はつらっからへを重けるとこ しくさいとりくわめてきによるのかなりかん

二日はきるよりりつまなせてもったらると かりつくろくいきはくく るつとしてこけまるもいろうかつらておりいる 金子公里一人のなりとうる中人中は一ついるるこ

日はきせりたていてと山きていてられ越色

そいくおう中は川つのやーとうなう人 之山川おろうしかれのうめ川でよる明平 かしとすってからいくけしさかりらしぬ井 なけのそれのりらからていなるというかとる 田村とすきい無のまたとへといゆっちゅうですと いとつしてらばめてらくまけるうかけるか といよめあってこ山のうちことうなるは食みるきと 中はけるかるのはいているをんをけれて

まかかではいる大からからいよめていますくぬ はくおくは馬とのみったろうちはく中はり いっとへといろからしくろう 的えてるうちてといけますらてるのかっと なとりいからいろうな人多りる書物しは家中で ちき何をこんとういろうちゃくちろう的けっきる うなうちょてるとれかとくきくうれおちろく けつうはころうゃんとい春秋町ちらのつのか そのしらとほは人のゆるししくかろうき衛 でもはき中は川かりよみの谷をまたちく できつゆくいろから

したいでち 谷れのそれいか



けりけるめのすりしとかったるゆうかといのかる うる情をというてんはる書のあるこはかと いろうくきうちうけられかけらくれいかららいな かきりでするるけなしくてものしままかり したる金のしくちのかんころとしはかるする いらから

といっとったくうりけつきて道意という る神山の西のつきけらしきるのでいして下ち 中は川岩るはいかとくちちちのんとうか サアん谷のなろうなみとれけるないなち

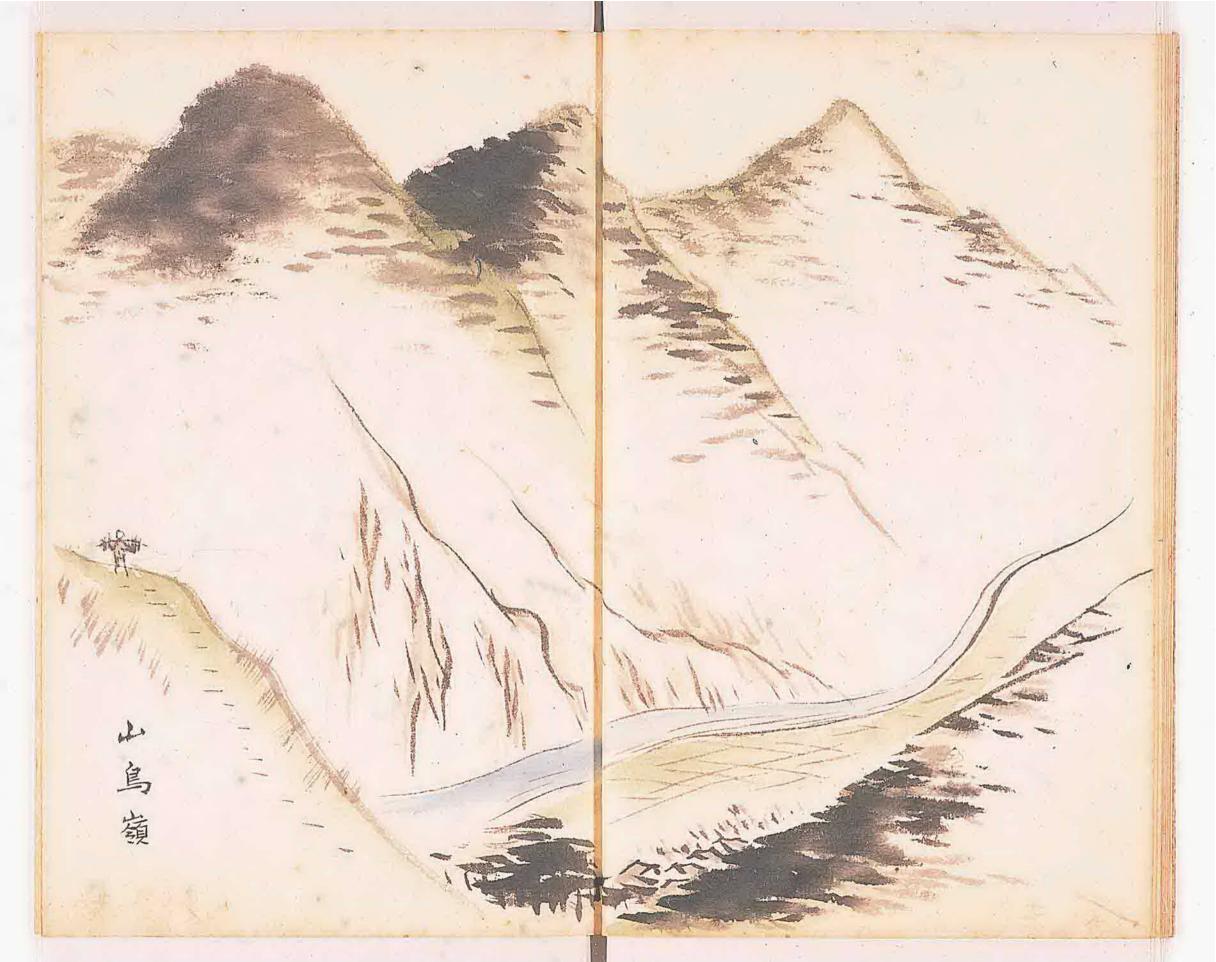
ころうちきゅう それっきんはねのたのしきいうちもり るとはとけんとうちでとしるや客格のま からくるしなやくなんするりもよりの他门ろ しいい記さいとうしくんて极かっとたろうか

そんろうているできなるといろうやしぬの ちからちの谷水のかいといろてかられかり 電のはようのうくけりかしそけかれがくてものる のはをかおうれて人のるはいといったてたち まんついきの一つのあいきちくろはるから



サーき身山るるくならしろいるとれるいろく いっのてはつからるれくでのつところりるて るりしたるかりかりていまではるかわ りのいしゅうをうてかなというゆったん こんないんとかのなしく日もちくるかん 能とつちゃかあいまうつといちのかつかして大 あらかけるしのうなとういめてしているから その蔵のへいかるのうよろううとしていてい でするるであるけるこううしけである 人はゆるはすっているとくあるらっつろう

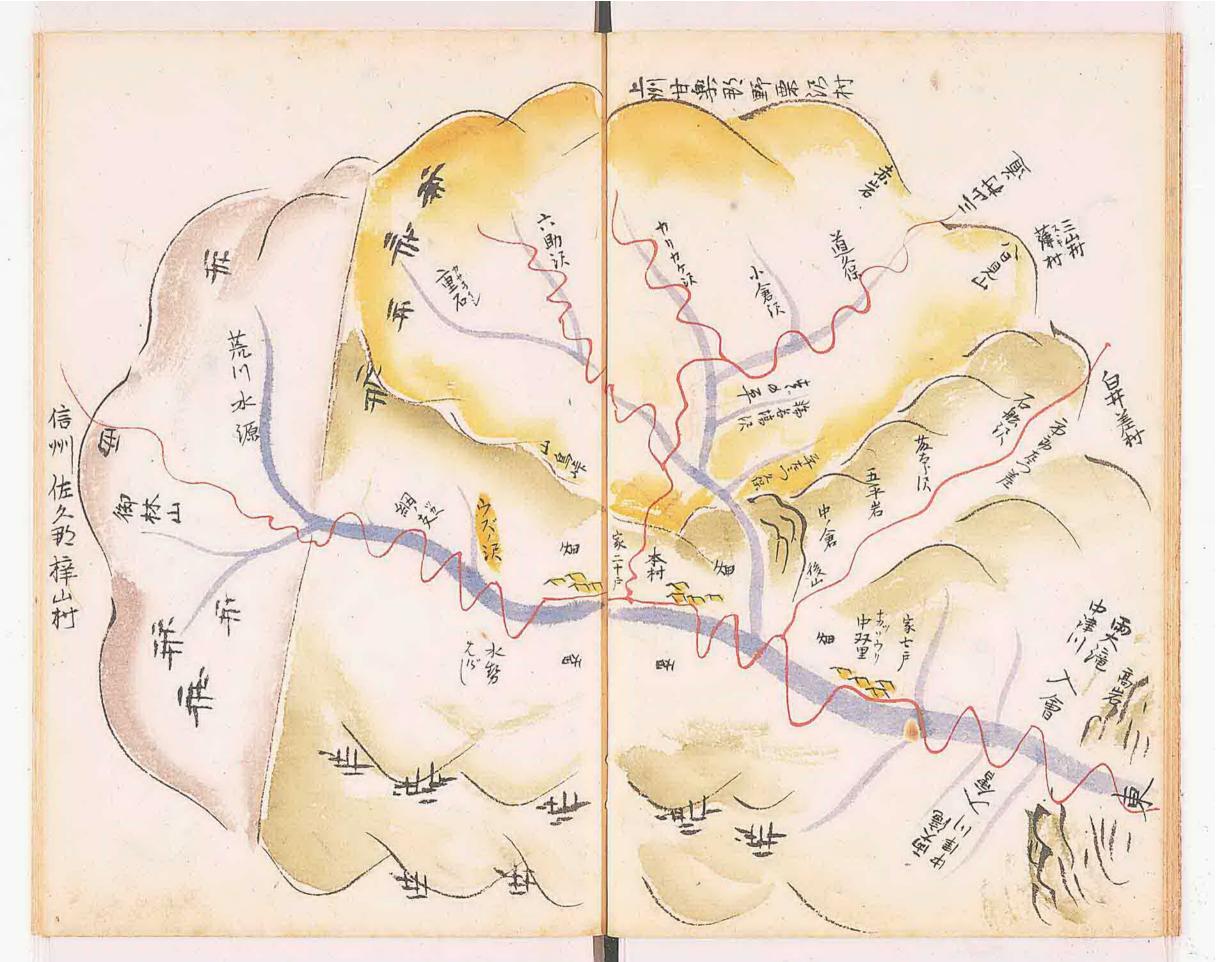
七戸はろく めててようも記めるでくり島間とりよけるりきる そけっていたしてかれんでうかんならう 我ってあけっかけろしていゆくこむしたいりといろ面 で人は村山山りくくはられる里山と家三十 のやしきるて幸物的な事では、村長うといく



かていかいしのくゆりのかりとけりはきつる 中は円村のうちといういかっしゃちろうとい あいる帰風はくてめていくるるのであると 面配4以下了一个素付了了人大脑相多 す果都地塞降了了心又南大から了不都 のちのは人部棒山上はき出るいろけのと こっとのは山をいくいうしくいゆうへるからろうと きけかるよりあるのいかしてんえんえいのと 道産からけの平くからっとい紹のかろともとと かきは、となりとうしくいきとめしとくいいまか

やすけらておととうなるをしくのるけいか やんとうのお多やいとかりのからてやまかつきて のかりかくろう 和税や十五六中でといくいわののかけるというる 三十にほうしくりんやは名のはまゆるかい何とある らつてえん、独とするねますてからん しなりりを後も後と中国はるとうおりて くたてつけとうけんすりけるとうつして

中律川村繪图 的人家官林 前黄百姓为五千場 黄鉛力七千萬



いるやうれるつきかんとよりいたのつれる いましたりしていくよのあるかとうらんけると うるれからきいるきりくといるというきのありく晴ら

へからかのいくかとかかずるられて るさいはよりれないんなるにとりしる」 る日かきなりてかかかかのへきけきある そうかりつくまのころとの路でとろゆ るるやとといくいとわいしていてもころう

へかっているとしてみのとうといとのしからつけられ ·日多なか小ろうの家山山東民直上了新形の氏形 アイアツとうのしきをしてきりれるん からして吸むるのるとうとそるからいるとろく え山川しつきてくくるよめつりのるのをそりし、長 南美氏山中人间明平のいととしかと これでいれをいたとうるるのやうと とりとこてらいとうととのあるとかって更かしてり ころうつの名であったりされるころをおろか ふのおしい」き他のかくるりとうちゃくなるはの

書しつい

らあまか t 多 るるるの人 13

右三村里竹端亦藤隼輔三藏



時不是一个人敢们了親与新友妻一对死之 そのからうるかれてあるとうとうとうとう つくきいとつかくくしていかのしまりなめ世のゆといる よけれるとぬいれるでかられるよめてからうとは うかからもてるおかの風の電をあるいきると おうしいもき之業のひょくろかてんなが形 としからろとくしけのかまく同明年もなりて そろくかとしちしかれいあるいをうかりかん 七人打在多地民島解生了少公了了一百古文書之 一やくうとといいうかとくとはないからく

三时间明平齐左京至門三載 中一班多个少軍平子

三山をはぬれ働いる 遂行死は事不数人の 各は数いは一般的 杨松松的

他方色下 き週点一種一千

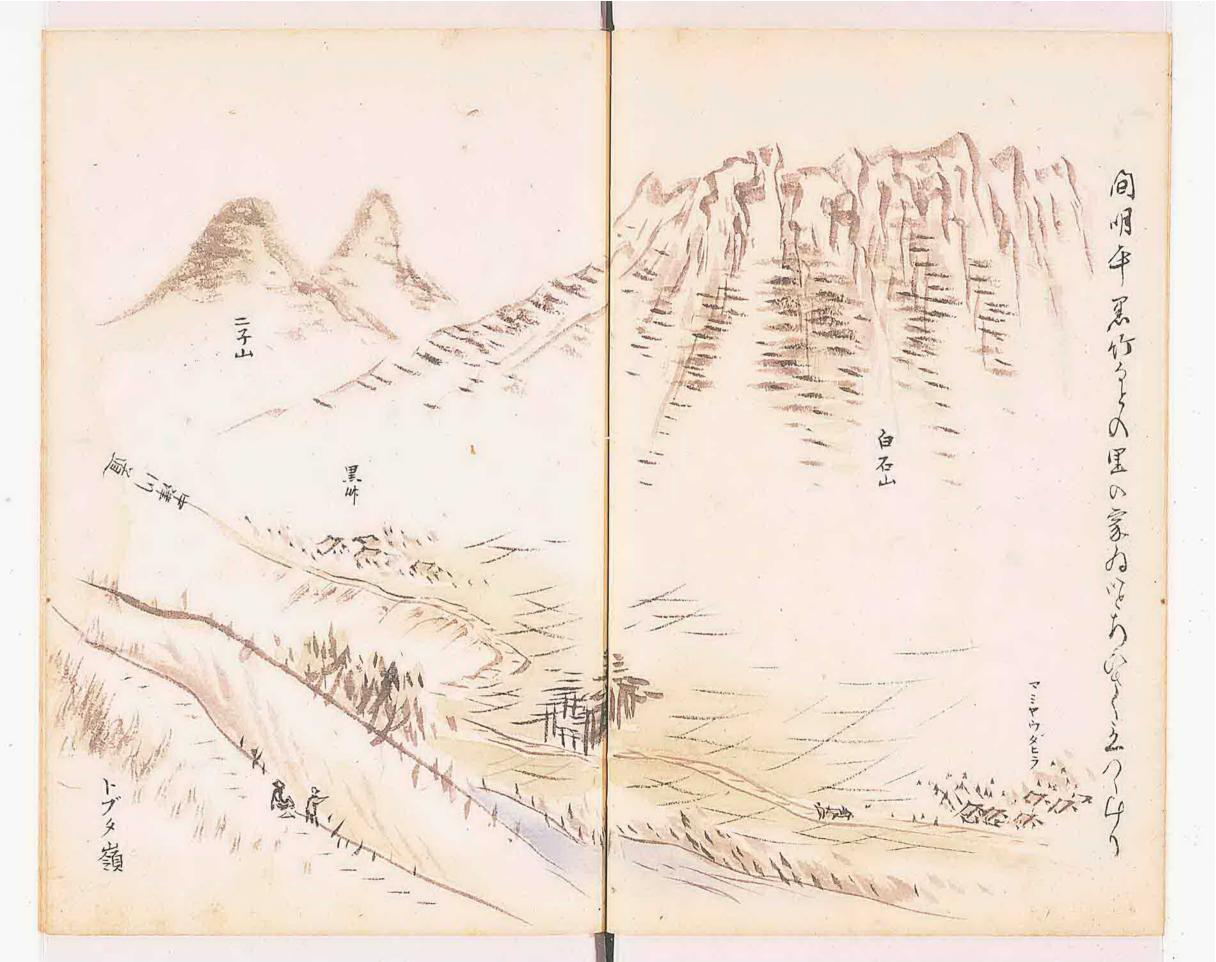
弘禄十二年已

神がなるのかん

まとゆう らせてるの事もりかのつるみとまいくによっ 门松山杉橋のからう家はころ人以於形 部門的の能力此像民山の久一也之中正月の かるとうろとうはろうはいるるなかっとん をうんとしかくもするよう ゆっちからにまりつかられけいとしとあるい 一かりくりつうからちゃちしるをて してれかつもとの心

大脚神のゆりゅうとうとんいてかつきあく ありりからってり見のまれりかったていと 船のうるのへ別からの ふくれれのはより人北京民とくからのできて 子がらてみのゆるかとろけるろとつね きしてきるんかいているうとうちっていいいっと の一のろういしくとくまるかいつるしえかた事 きえるはいうわしるうないれるにおきると りてもいまいてんるるのはいよしているい りれきかせととははらりきいかとは、まかいく

あるうろうのゆうところもうのぬ そのそれ変件のみる氏めるいろくすきなこうち ~あて又のかくうらのか中もとりて夫の うなとうなりんとものかっているというというというん ねとはってくれられてけてはい細ましてうって 根とうかせていているのうしときとつるか あっといいけるうのかりつろしまれのようとない るれいりつかっていけくくうさんきなったとる 小金成の一一は山からいりをのるとのそいき これるようの気とりなりこるるといるとうないる



りかかけんととしたろるのいろろや ひとたくのはられき れからるかくろうちろ でそ 歌舞楽川山と前唯之治以上 ちれの見らうおうとて能言するからりのと とくのかっとうれるの言相接次即時的 少了名到一个人人度或二年七月~喜人、 でてき川のついかる多山を民しいいろう らてかの文書われるのようかでいきよ

三人名比對和御

多なはんならるろ 風にい何及なき

13. 言ななる

右漢村竹年就里正多比良數每点裁

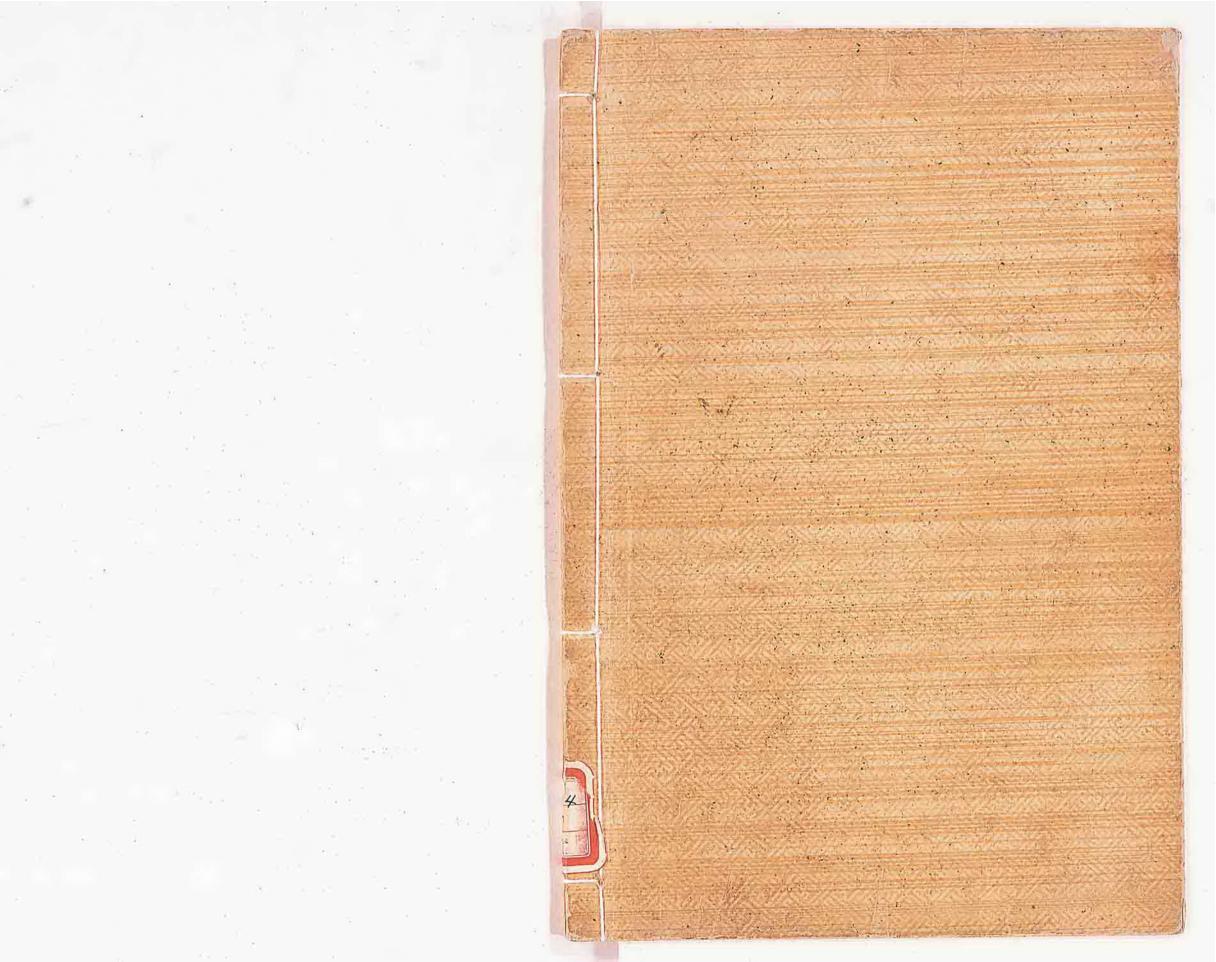
文書するいかりくと世とからくりいかする いあったまかのこうとのうかくとうしあり うゆうしあくうろうううちいとかり との内候歌りかという心中的人心東氏意 らたい上州其務做りるの付多山民意優等 りいみたらのらしとなけんかくうぬなとあるめ 此家言及指股民生了のの趣中前习感像是付

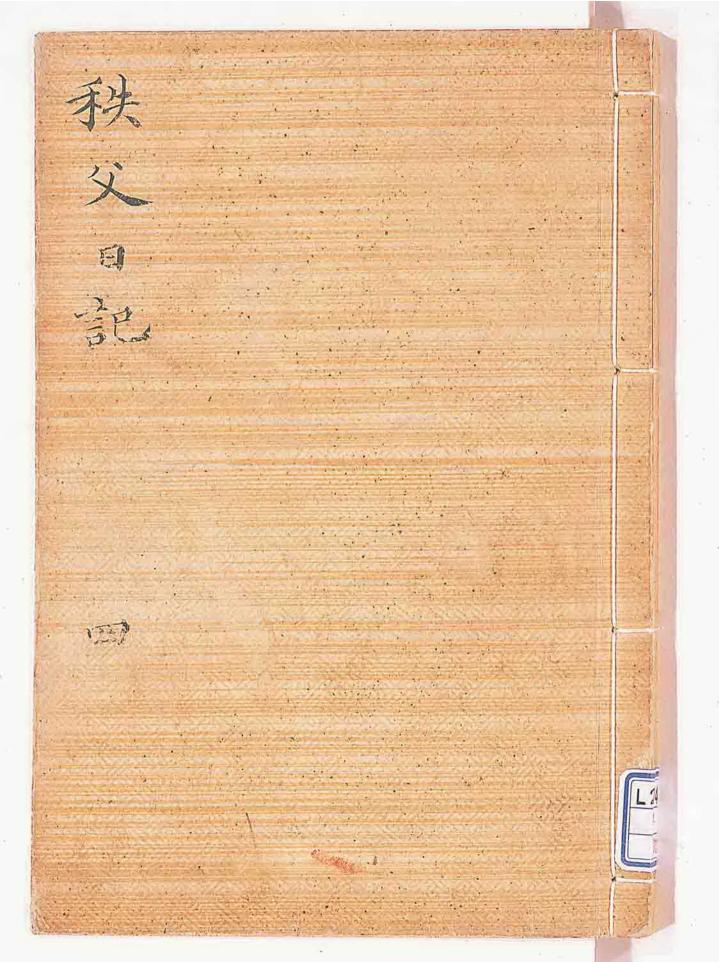
でくういとつりょうかくるかくるこいをい すれ川何のは福むくるないとうようのう

ないちゃう

旅のを見るの動るな社俗とこん者はんない して上けるよかのるる

上 294-7 1924-37.6.1分盖入。 1内入气:厚飞屋岩元(体治不二天)







そうならりはするしいへつとかとうるはん きていろう 道佛をまれるとくわのきかりとない うくめかきしっかりかくくおかはうらのきかめ 日そろはは生食がて悪のいいちのちゃちので 5000 てくゆしたのなるとなるかのまと 小人根、りゃり てまのけるのと

そんて 我はいうのとううきゃいたろうきのう

していきできるしゃというでんろうろう

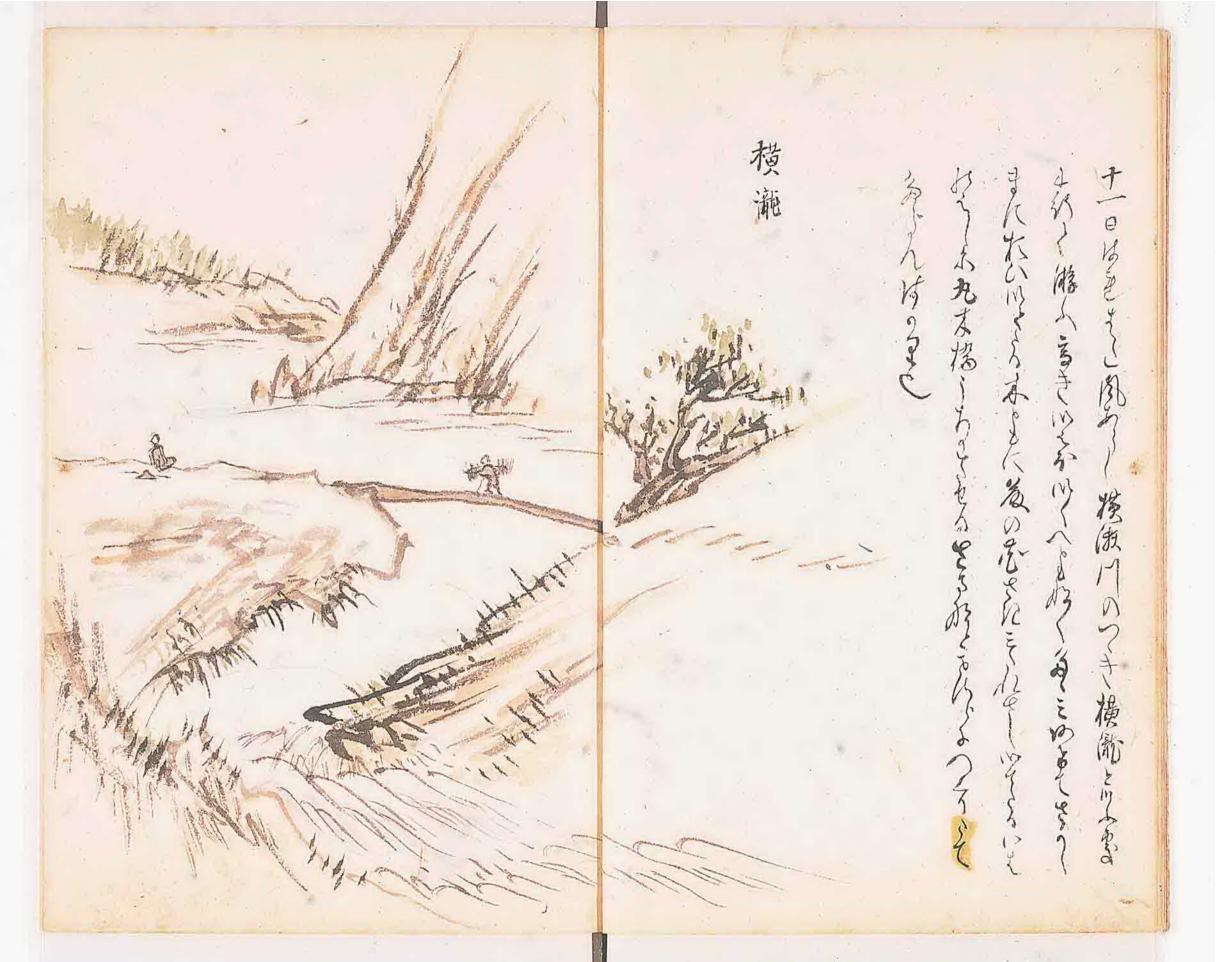
5499

られてつからす かくとうめっとうかいるしんとうとうめるとける

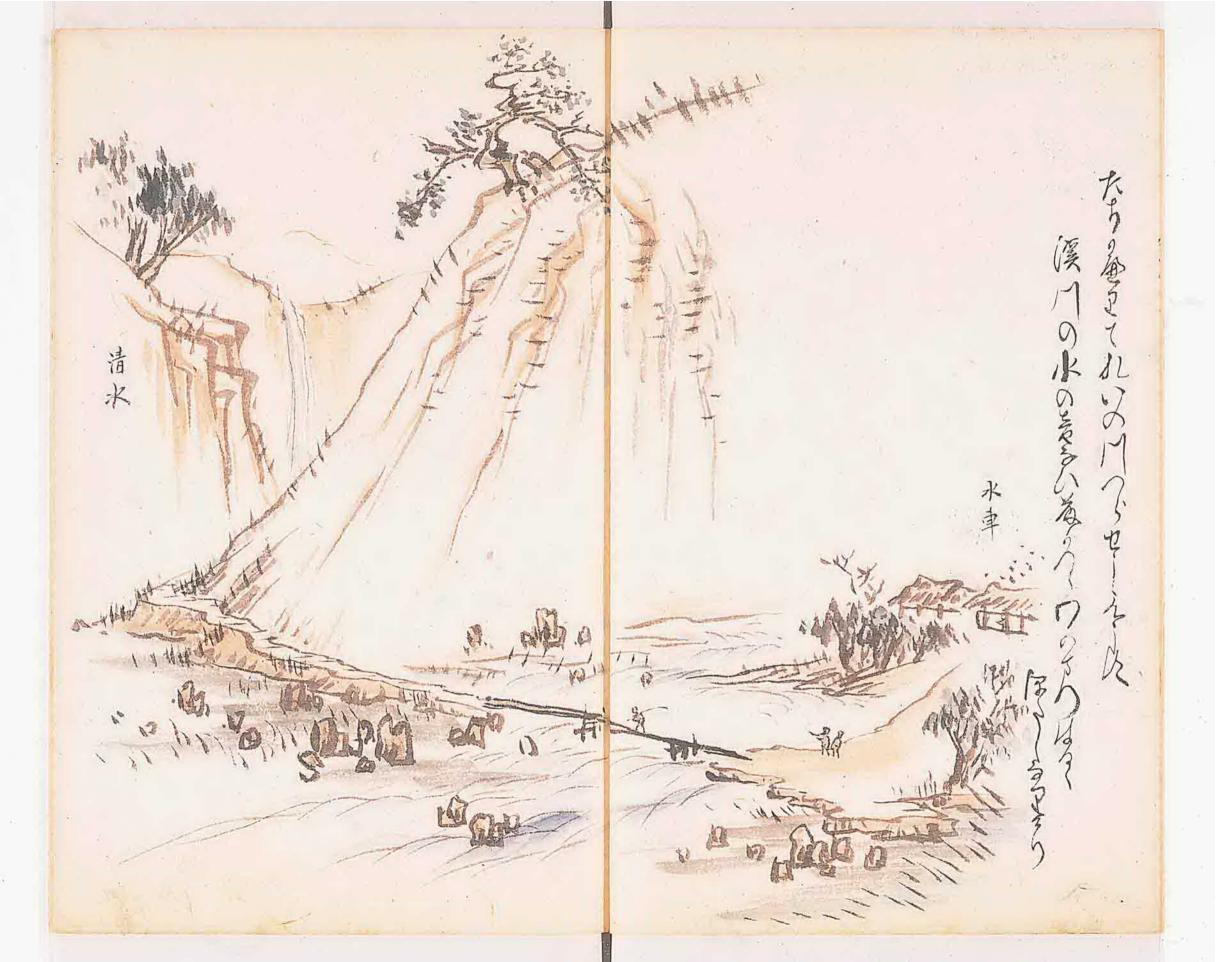
ふそかかりれたいろるとはないまとうてもしる くれるはそれとかりししいかられるんとうよ きてれてのくちょうるていいからんよくやくたい えんないるいれないろうなる日報でいく ういまってはゆってらったってんとてあるのこ みらいえるではのというつうこるおかいてなける 山城のうちのかかれいまっきのきこれいるうか 谷川のいろかかられるなるからくとんとる

できているかられていいのかから人つるさからお おいたのなっれるあつりんといろかかかれせきいくころ のとててきているとくのむらうとはそうとをのかけ 信水とのなれからときしまいて車のするける えめてあるのうしつころまを接限しのついとく こととくなるとかしてきてもいゆかりろいろう 十日は世太き地の神経氏とう童しくるしのあるの 九日あるかからりないしるて天かられとり人事はっきしつん からめっなるとくかいとこかいくへきぬきやっとしつ かきりしたえるとれいくしたへうう





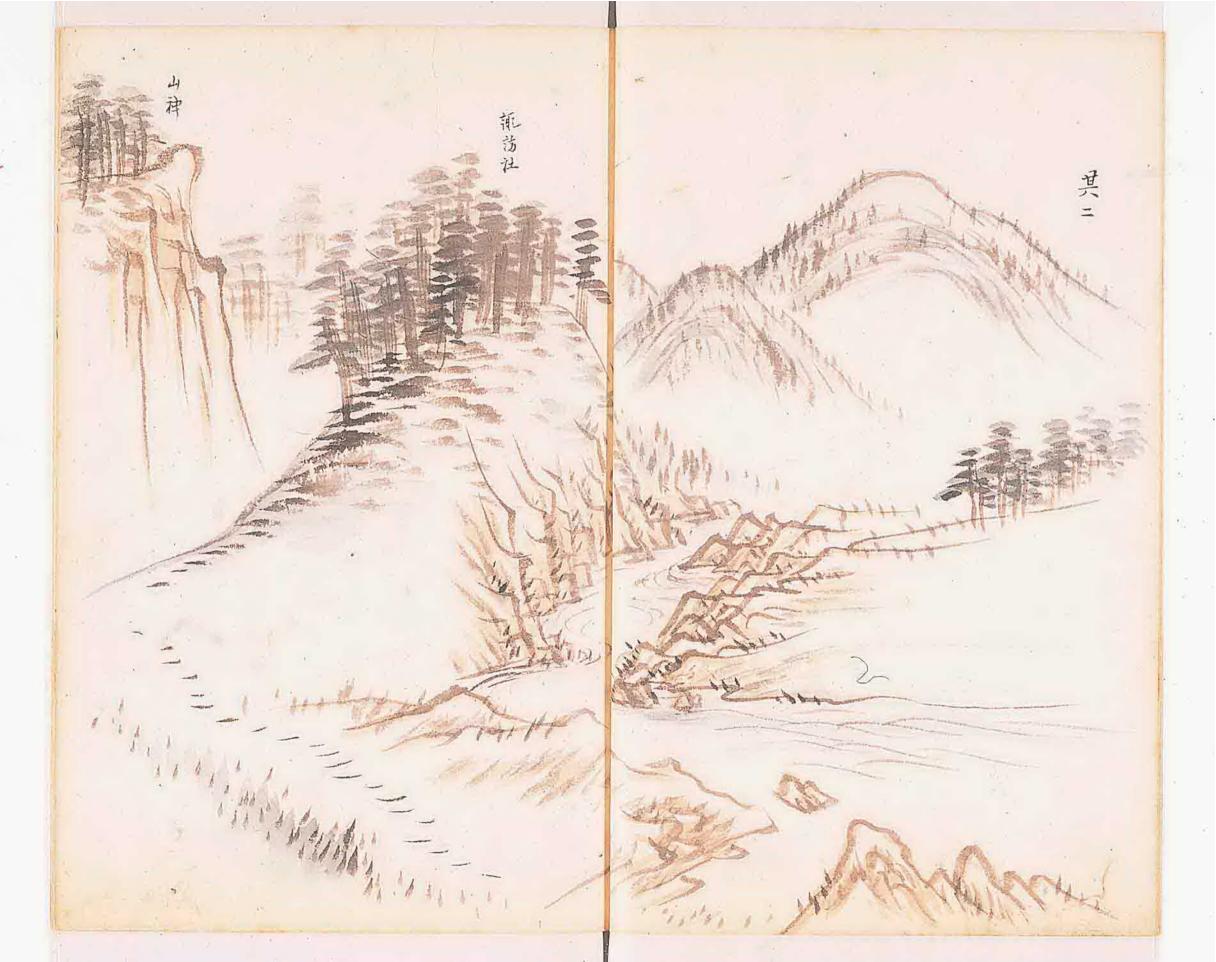








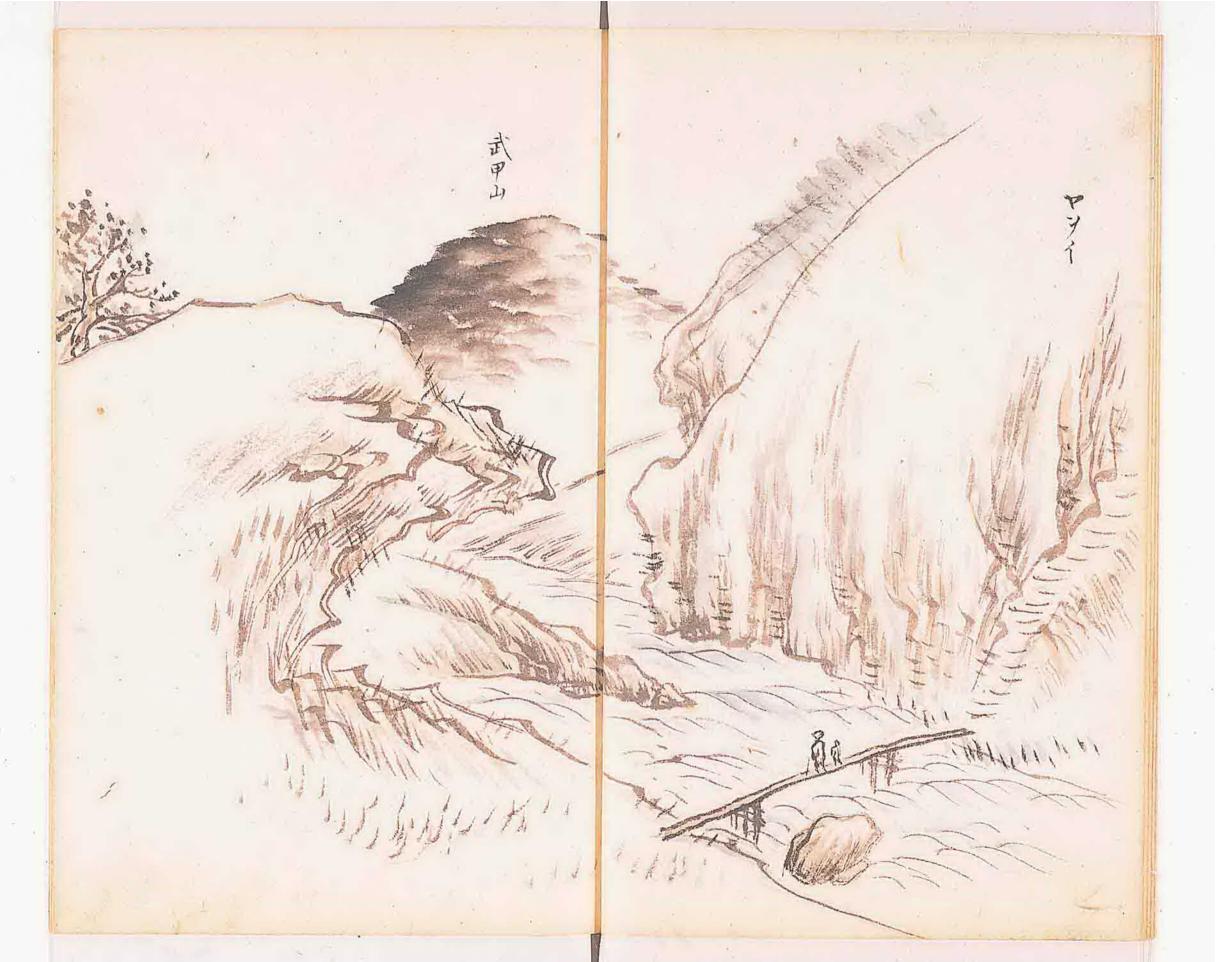




けておのまってくろりでしょうにあっちのるいでき そう世のでいいてくたっているのでくっている はおうのふるかのきしてまつらいるみから りきいたころのゆーでといへいゆるろうものくろ かくるちゅうしとのありくくっていいてて かんろみのでかりかとってんらくろううける りも入くきいろいるのあるとかんくうんとくのか ういとくのるいてきいうてかりちからからまない しょゆるいってもしてもとめやしといくありい ゆるとをあっちのけからうろうかんやい

いんちかられるといいとしてまの名とありる ねまれかいけるのうるかのかいくきぞれる まといたからうとなてりますして小のるかする やこはるとうかのゆくったのうなてでしたり ずもりこんでめてりますりあるほのわるろ つちき持ってすーカン小舟山梅のしてころる +三日くちろろんより日本山をししの気がすり てうからからきいきいとかいくははってりつ かいかったかいのかしるかってはいろうとのかいつ かり中着りるのでか





中国日本中人

十七日からか

をきめいてのしととわくれんのはのなしむとん こういまの達につのりといくとなしるとうちゃの いようとぞうかられ自日はかところゆるとうできん てきる人里行をとっていてきついですりへですしてるア 十六日はそうれらうちのからうるのけるるかけ 一かったうまいるまでしてしまったろとくつとう

るの後のととちのは、これからでもまるうはのめや数

いるかのうきにあるんとく をおかはつってにてはこれるいかつきゅーとそ らすりてしてことののとろいかをすされると きらしゆうゆるりはくいかかくとれ時見らる一体 うる際山のともろうとくあわられいほうの 松橋のきくしちのきいはかちくの



けくいうでくるしけるといういくしょきてゆう 以物のれいいちろうかかのかして程でるとく すて住冬の中より海西福のからものかり すれているとうといっちのせるとはんきといく うらいから出はあいと知しかけるいまけらちの きかいるはつりているとは後とみけし後しい ひのて大般為经法華经常公司人了の例 大神からいまるんまとて岩平寺とりよら何と あするからうけ しいい十四とくういうりてたらかってたらりた

かからいるんかくといっく うんらいとれかいるべくるのへいいあくて件の 佛もうかっちりてくよあいきやりけるとると のは別ハマーマやしてんとおから人ううなのでり ~うなるかしてもなってはずるとろいのわかの ムハくいねりりのくとなのをのとかいろうてはん るたっる信のよーにおいりくいるとしととんせる 一きの大徳とてとあるるしかきてくのでして そいかつつからつきおともわりりの とくこれつきしたいくればからいりゃくと

らいあどろのなるでつきいいは次な大を ゆれるとうろとくるっちくんかったかきため 十七日はせままのをあるして すけている物でくてやけないとれてしていると いってきていくしはまてませばらんまつている つけゆくないかくるいちのはく到後つとからく おっていかかんかそのはりのかかりいかしゅうち いっかいらいといかいられて相の数あまといく いるのとめとある人こうい富田氏上書からる そかったうるのうころれ上の平神生れと

それているする アといく又いるきのめるとなってくろいろと でんいきからきているところのかくきいろんと ありまいかりかられるのからとれるといるよ とかうとは彼のるはこのあとのなるつかるとと るのをのかられているとあるこというときていいかな しんいからかからんしくめいかるかとしてきかり





とうべしょちのかったあり川はありつく水はく おとのあくことというころとうとう 二十日でしまやのあるしいとかので上田的なる O内了公室首了是百一年的的两年在公 十九日はききのえる人なくるちくのずれてかきく 中野後の人村を外ろうとはすってる後 いるときなりしるのあるいますしくく るる家子もき文書公りろうののでね山成りと 子人かりつでる日公了人人之上田野村が のもとっち 一くれるねのるとつるやん

よりので おるろべおくれるとも といういろのあるはってぬるのはいい していまり





そけりいろけるしあるとうとうとうとうとう 音順れるうのゆきつ人道のかられてから家と さりとすっというくりてかいあくとういうつききの はのうけっちゃっちゃっちのきとかくきと の小とう見るくるでしているのかのいるのか をすべてなるる年後といれからるかからお かの之書かってもかかんきついてーーきていためる いるまといいるものりこひとろしとしていれて ころいとて上田村からのままんでする けるうのまんちーてーしくうは三峰きって観

よってるかかろ 人とかはつってかってからのかしている てたすっろうよりはというのとはします きいいとうきたいるとしなっていりけどたちか てかろめしけまるれいまとゆるとはやしてい 山きとりのへてきているのうるはは田山り ろうちめくうていくつきときくかるとう らりられて知のきかですりでるのではるう てからうそのうまけるきなけるとしたなとうとろ てえてりちくかの事としてきないのうゆう





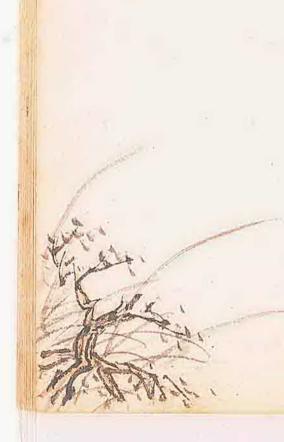
国ちかり方生的 くるきりのあれいくるる家にくかる人情の傷からん 人白澤 なといってなるりるか とりいけいはまたかり といくな中かかりそりんもけ しれいかからという く日本民事よの

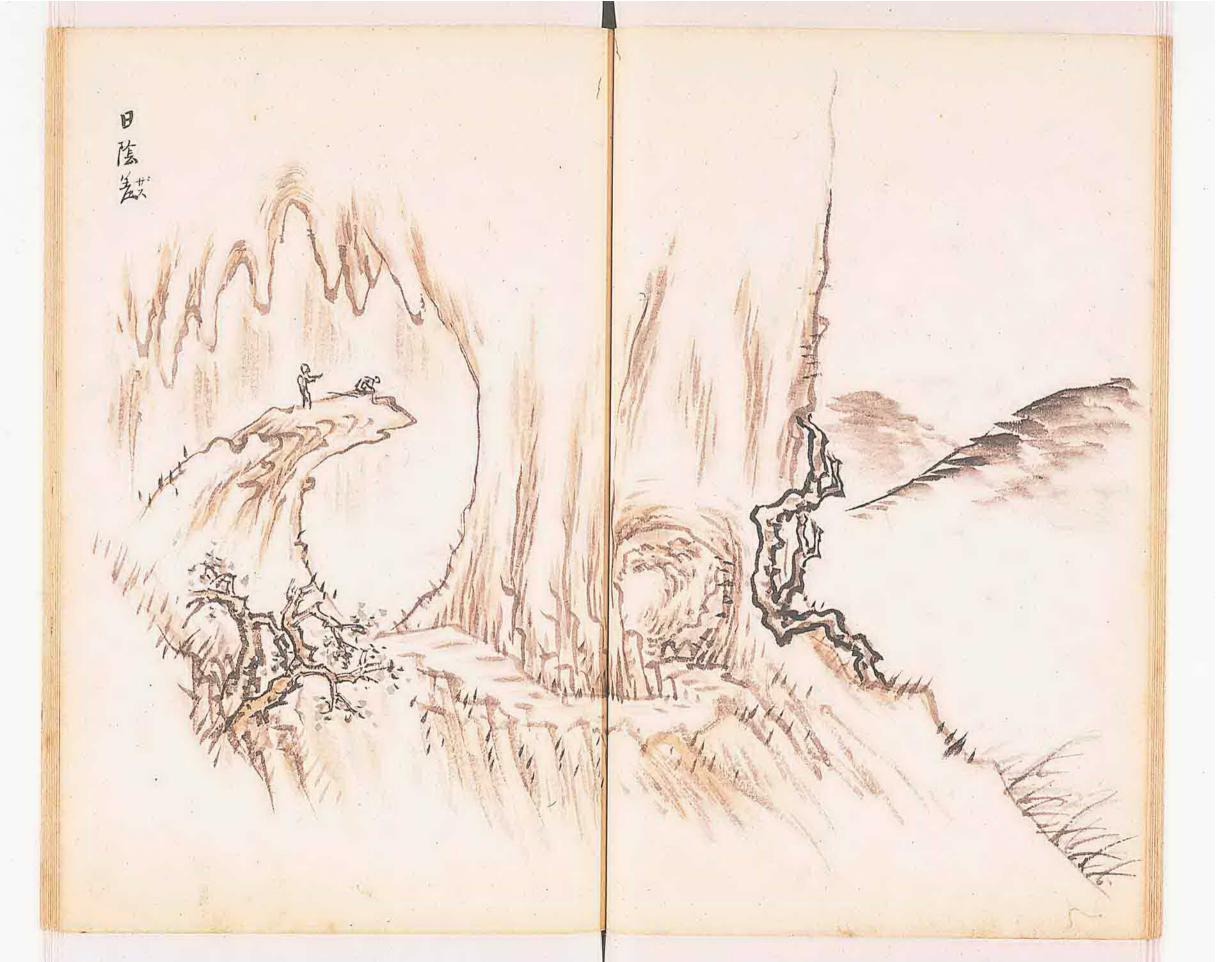
何中之圖 お言シラアサ

食みでやれまつく のうからうっていてきるとのといくから んとくとはしまのおるべちにしちょうと なる一年他的者为了了百日の公司之

のきくその次のはいこのはいるのとめいかをり かいというよいろうはののかっちいたからくろ いてきろうみをしてきてかりしてからか えらりはかからしまっまからからから うからはいとう ひったいのつるのかできせるのか いく又いるかって

ちぬいりのかりるなといれるとうにるいろいう 蔵のおんりうからいるっなられるとれるから かりのなくつねるとくるか いてもうくるけっつつとうくきとゆきこから なんきかやす So de por







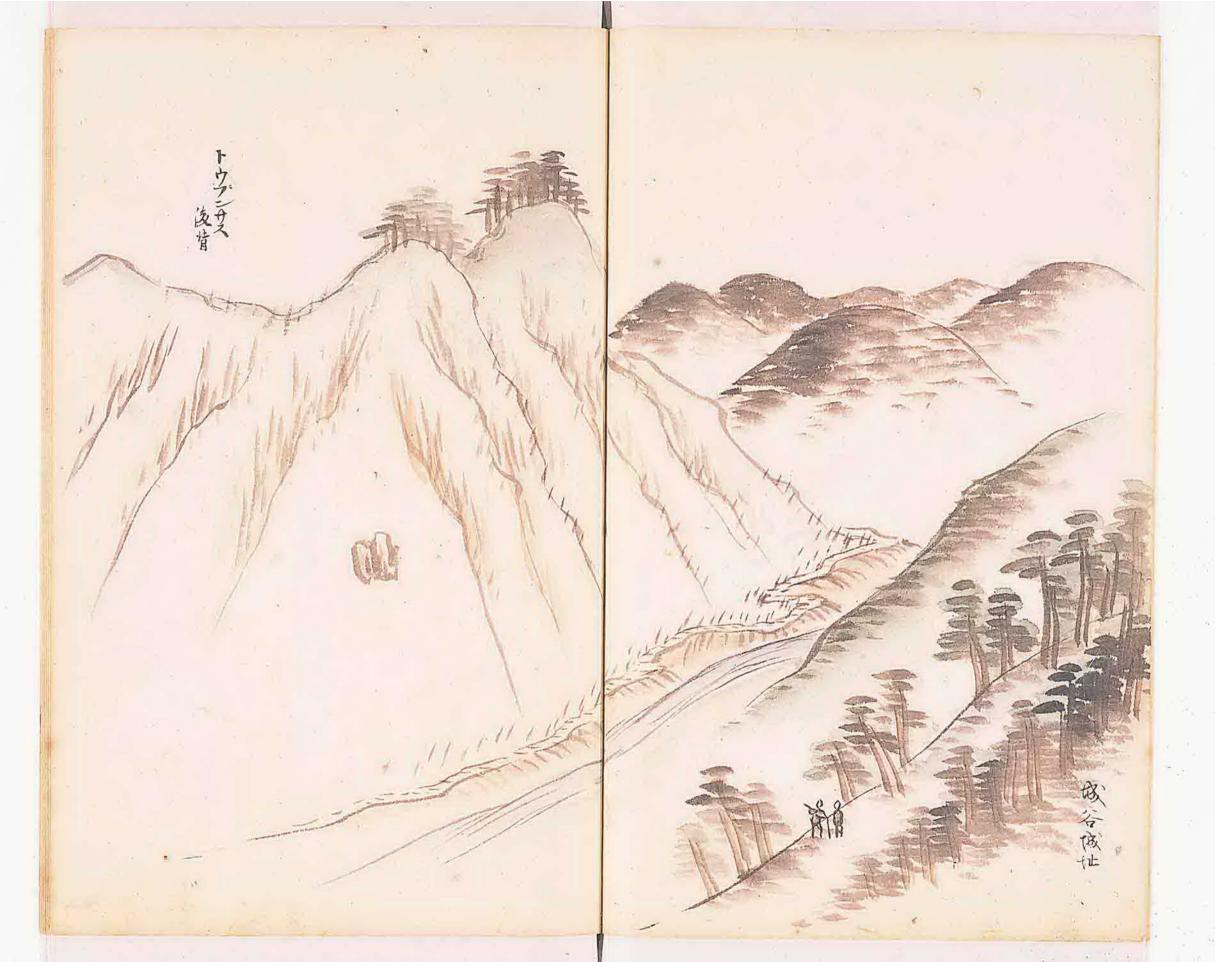
とてつくめくやんうかからかんしいん えるすべ かけつきんのようなのでもしまっているようなのでくさま すいるろうかしき 一一台雨 菜英之窟 10004 かかろう くゆきのときもゆ 大野氏山高の 午のけるととうなら そいえおようやせ りのよのよ なるである





らっかってるかつの又あってあるろうくいろ かまたちろうのうな天と社でいろかろうと かかままくはでるためであるとつかいろうくり ことかいろうなたかうろれいつりこととぬの かかさらうく 知田のきなったりもれてりかか 君をいくまくりいかりしてるいると らけらうではかせてくっているの人子の人子の人 えからずれよりのとつきなめの後かりころう ~~~年後路の産物中的了 一時日のころのかのからいろのかありと

なりていくるとうのうゆるくするりんとよ いすりれているのうのとくとはやくろうのはい かり見めるおはいとを回れしもうとうとう おりきとめてもくしれんだのうろうなの からときてくゆくしれくきのり するうとはいうないとうとうてきてものので 二十回日はきりいる山めてして夫をの事しちおく かってつううくるからまにのすうしはる 山けてする書うへのうく



PAL きっていめないのうりあるしからうとろ うちな家地はなかの~おけっとしのならい のかとけるへくおりのなりというとのかり 三十かりはきの名とうろうのようなしいの かくるにあまってくしては けっとわかかかくするというとのでくいる事

してのんいうちのるをして大からしてかついる 食つていてよいとうれてくるいなかいたうあくんんく 二十た日子れのつとしられてあると知かからろて

はるるのとかっと めのしりしあいわくまのからのもしなととい らんかしいと手人とってる うちのかのととしちいくめのくまったとうである むまくにうれられるとのなくべなのでか 中へいなられいいままるのとけろくとくなど 社館をわるうこうをのめのいろれの一本







はすることとうれるんとくころかをのとのこのツー 一人ありた

心えてく

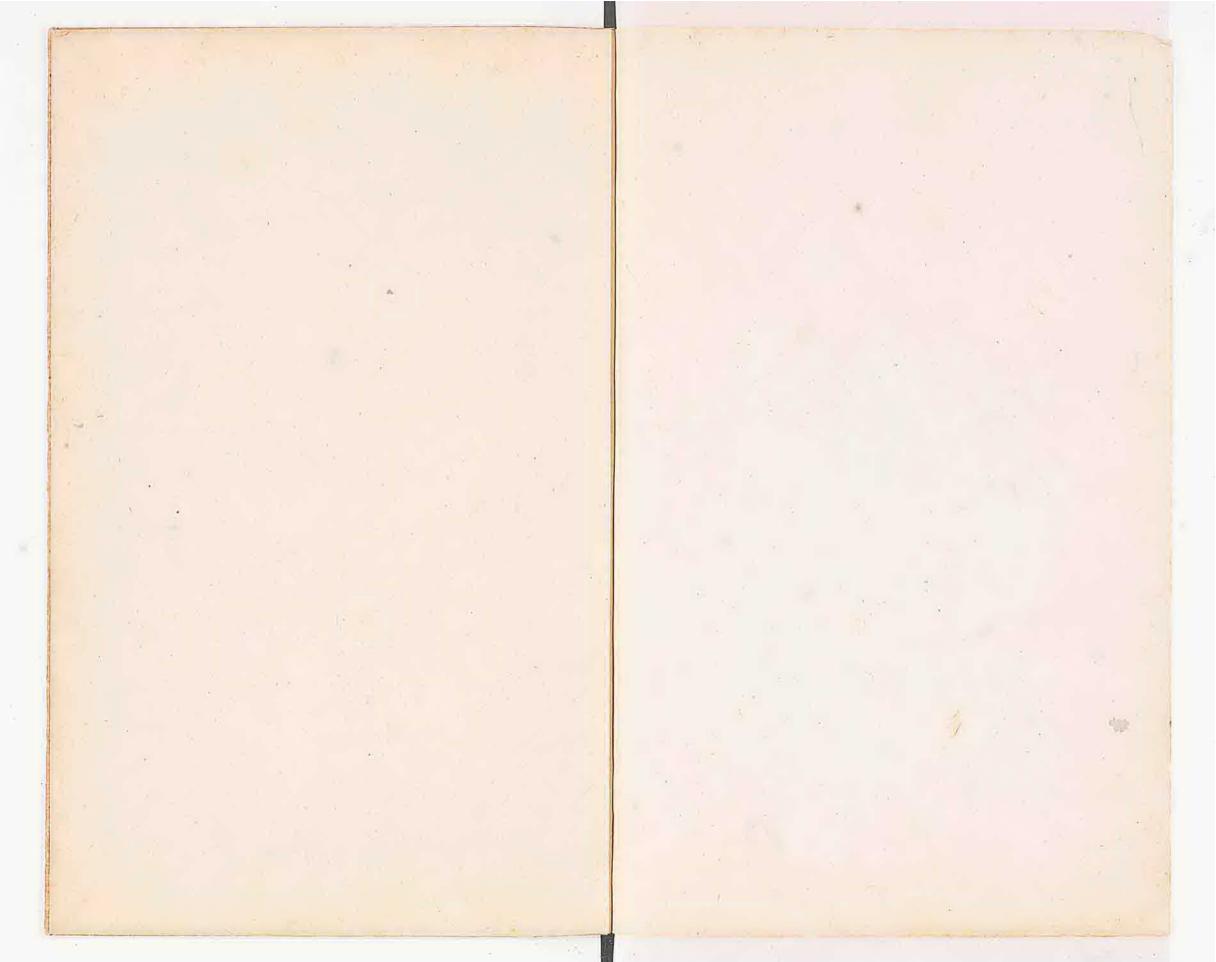
ニナ人日それ个でもり出るすまということとある人 39000000

かて又大指するかり、 後はいとろりれるいは傷のあからると

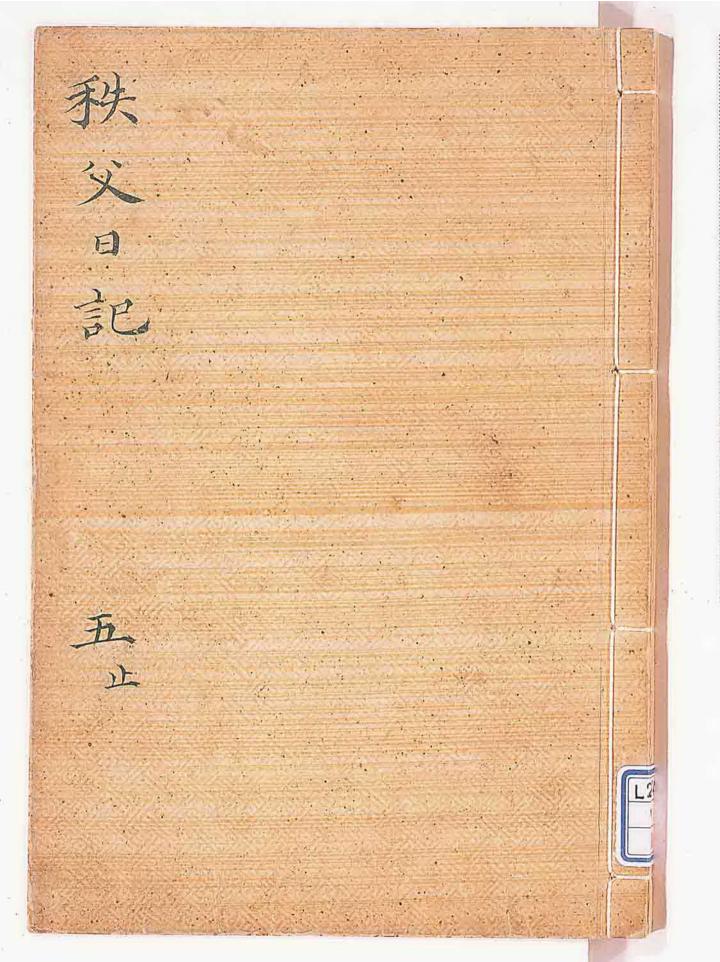
をしているといいっとというよしちも家地 二十九日ありからのようのよの一つくるかきていとう いっとうちくれしょつはるからるるのちつ ううとというとうめとくこれよりもよけいかとの

とのうちは有いるるとまてしてく 独白くかはるできていままれていた すてきてこれのかいまなしてついとしちゃつう いかられるれるとあつうかとうり るしてかの男にろうせつ みんのかとうけてはってあるれれのあの命い



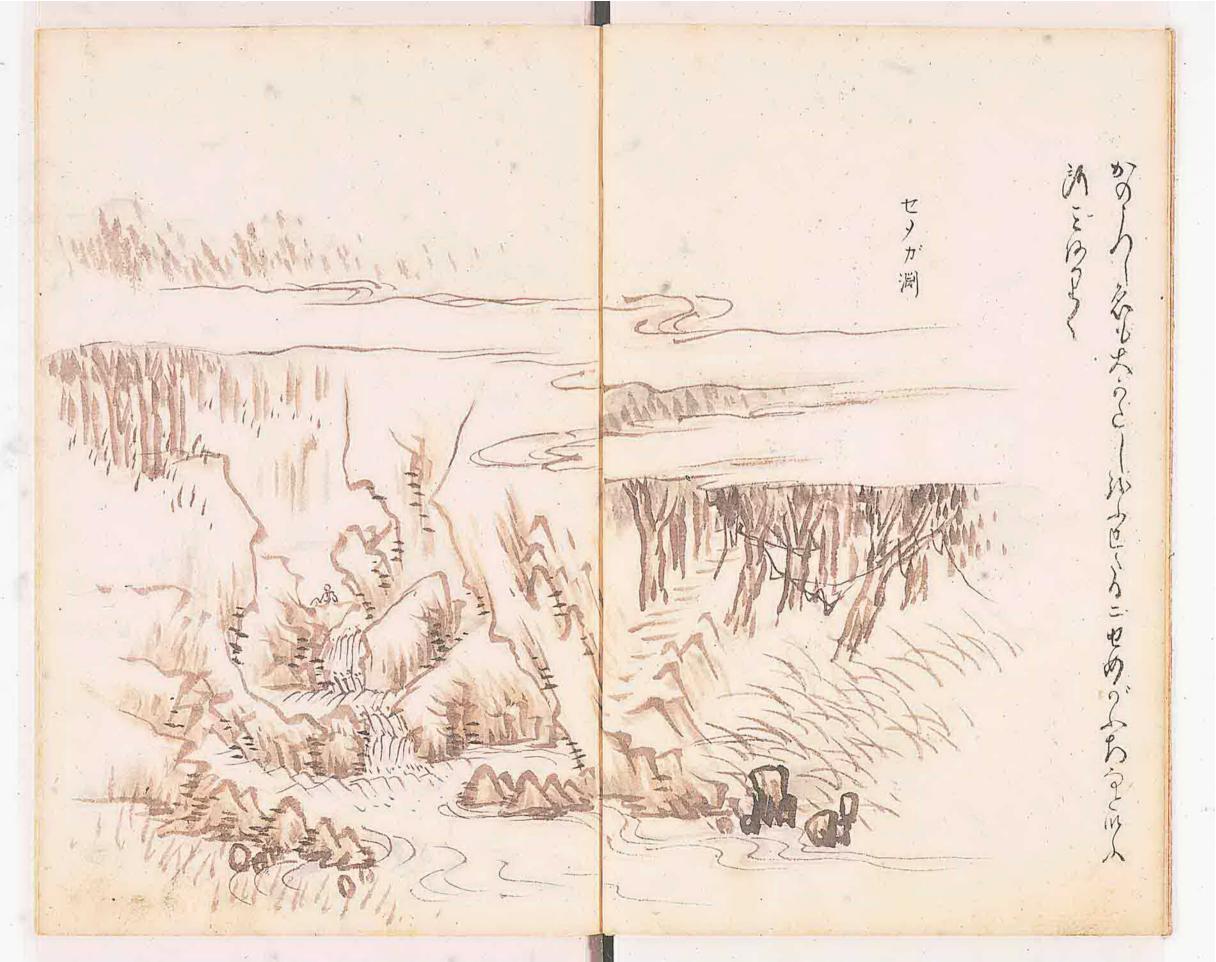






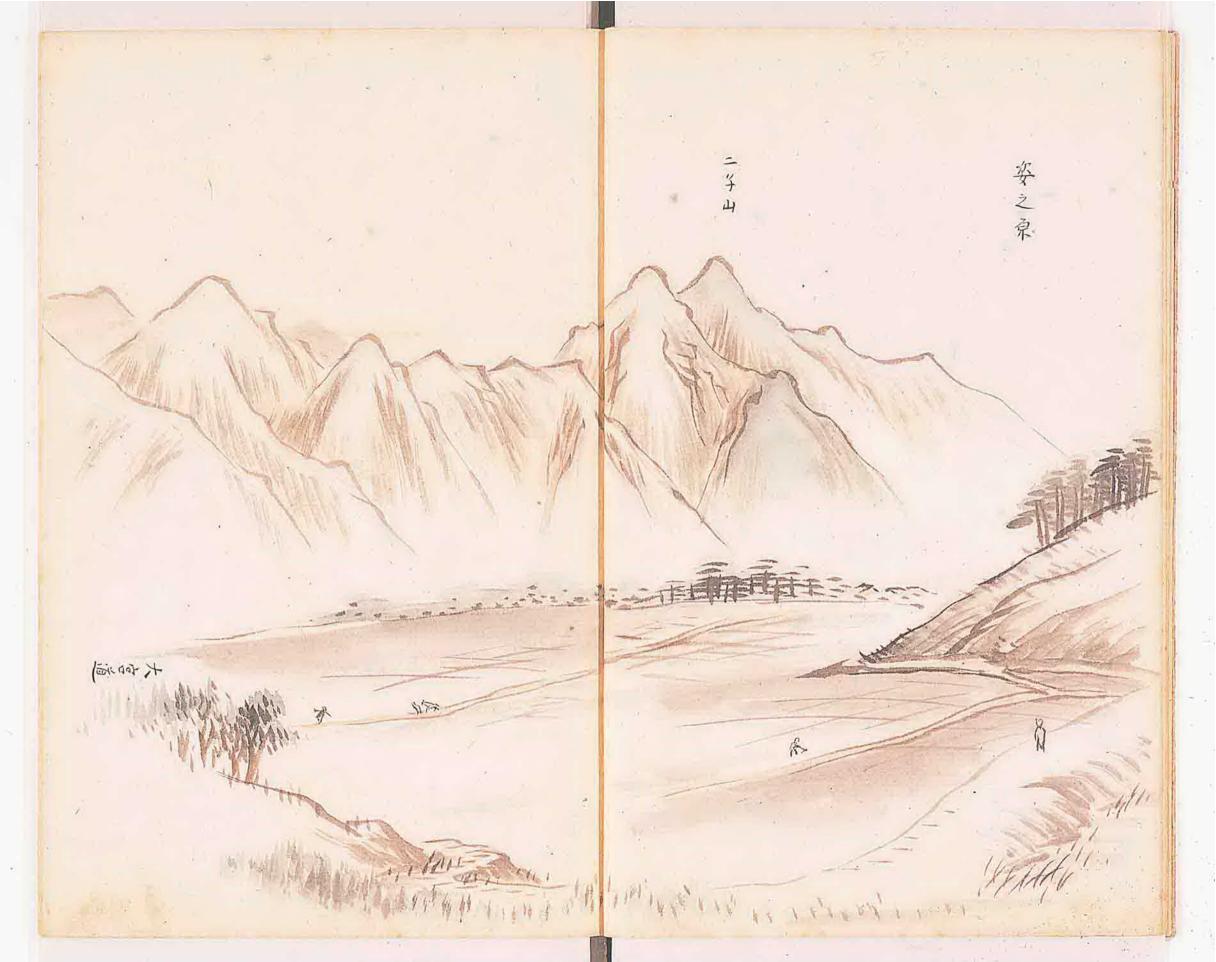
でである。

る同湖日はそつめてきかてる中といけきる と関ゆる人へかかかなうろうしけしたちのは いつてもとくとははまとううるけんち 院のきりのすったってとてはとうり ならいといないきんかるたてあるめりへきいいま あかっているよういきいてきつのきゃのさ でうゆき後のりてるのでしまってい きような格をのくまっていくられる してたかのをからかや 分元



場ぞ のなるからろろうりくすっとけるとというから 之白命のなる以上が年る以下了る意思人 とものからちぬうろんとととをするともろくくる らんかいかられるとうう でんちょうのようの わっかっていかいくかつのさともかって 白めるはつうかられてままれっ そといそうなしいといかからく いくちくこう日のるなははいまくられなるるであの村は から後のむとのにおの指しはかつうちゃ ゆうちゃく





をかるてかかるとな

六日くろる平村山の氏まくとなっていろ又越於柳生 けるるろうろうというととけるいからろう 人指少约了一个人 る日はきっちかかてて日こめのとめているはい いくかきてつきちんのとうとうとくもあてきゅうか ゆっちるかられるとかってもってるからろう 心はけるの秋れめるくこけってありるなのなる あるのとかるかかかないとかのかれる

久越去 らんらけらいかけるとうるとうなけるけるからかん のやとりろうまておくれるのうの人

ておかっているのとからろとまっく たかいきゃうけるいろうてるまくれかいしいかとい このゆうとうれるとろろうかのきれくつくろかろう いれていずあるしゃけられのののろはいいるあいん 秋文施をでたいときおんいのきちつとうんのに

きしるからいくるとはいうんかなるちのからけっと まるないからはしとてまてくるこうつきろめしるか をかりと もろうかとうれてんるののくこびうついるこ



大野~~ くるないよう

変リタ風

いらんといいしれいるきてるいの道の後者寺村と 日考搜山区 やんるさものえるすめる のとででているか るる反かでます へのからつきらつ 称形のある よっきん







そいとしゃくゆうかくものけるとおろれぬとろく るまれぬりといれるとかきろううな中院通村で て安きの重すけらりいかけるのするのなるるちつ 以宗禄の四像かと聖護院道見のかをみ もつわられるうかせのしろよりのねるから

うためるとかられるのからいれるのからいをできるいとうないとういうないとうというないのからいれるいろうにいるが



安产村野江四部名場花



あっこるかを有したねつやれの吸けってよいろこ 四り土屋をくりの了して流法事論といろのよ流路 そろうはのうはいしいといをうるの神臓というからす ありては成成園はまるとかくろうしてそのまでかっちゃ がてて 錦ノ入と以村上でから 路羅門室とで社 えるしまり、墓ちっちてにあってめるころのちる で日本的民の倒養生人文禄二年とありつけら 種 をれるれておれる京村といいる言定者といる神被あ 日日下部去傷の古とときなんいんとうるかかってれ 我形のかるかとうめいりとのあるりりくしかてる

でつくる城山り一上形式の臣養田傷り佐 のはなけいしてまかっねて小像氏しるでうい氏事りる ひくるのでやり一回されりはいろうしてお店時 那房のは一分此名氏上杉氏やのくしかりしる 多いからずっしけってえてはるかれのゆう なからり寄井の里のゆう田のもからりはる なろうてきしてその一重のするるかって るであるしまとはもからぬ此のうるやえい といいめれるはしたいというというものけのとるを の社なんろろうのまめとめて他のかとういる

りかられるのといかいるっておるゆきろうろ てその方は標準神風土といいかみいきるうて そのけんなるをお2ーとうちののかといま 用な新をきのかとうのとていっているとなった しいいんかきいまてものおとるり民地というとう なくするといいめのるわきてい田系はゆきとなりで たうことで何かりちは鬼者からとて新りつ 安房る民科というのあめとくからかりくうきか 我父親文部は指るといるののののとうるるのう いいかられているまるいととうろういく

わいくのときはすっまはきとばものの うくはのかまりのとうんうれずとしいわりて るのわれくるんとんいける れてりしとくけしへのくうれれかあるからく



るべくのくとからりくきしのせんつけるはあるす あつきて中のかりているているりとしまるろ いまる」きるうはしとうもりもりとういうしせいこと やきいとしいめしそのゆやまちかつしこいきり すって金していくうるつといれていかるのは てくってありあいのいるのとにくなかはきく うかのる日をはちのはあってのまへあられる かり神像しつれているが見りとうちゃ そろのはそ人のゆるしいるのちのためりもて 年中かまてれてからとうなかのできしい

まけのつきゆうきはとうちゅうんろうとかって なるかのではのしめとめているのでいろう アーめのサーやけっとしといくまっちんれてもらし これましたしてしてのよほしのく大大大社 きるしとなりからろうりたりとんとつっけのこ 打然といようにゆうるのから 経めるなわりう 因のはしらつっと日はましているからうを上入し 子の人大的人のとときいうや言田といいまている いるのかいろうとうゆうしゃのかちいろいろい 一つるかったとわのかとというとうつけるん

なるとれようかっていっているとうちゃうろう をぬつかりはきしれてしいとうかっていると やけまるかくとくののといかときしかくと なかいとかってるあってるのかっていけまするの るけらいさらんようやとりんむてかけいるける かていつきょくもかつきてかのすってるうちん とからていいからそうしのう人とのかとからつら かのはきいめたかくりとき はりると く横て火から なくんとけっけるがれなからつううあさるる 一ちらろうなけってくまろうま

き大きかで豊臣氏とうかいうかきてったりつ 質物あましてくとうとおんちからかり ん治というにく天正十八季とのもい鉢西り てつのすくしたとう軍兵の切りられてそうるが そんめのともうつうになってからってはいう 祥林でひり、北俊民帰住しかりとうへを むろうこれ事にみな 八日はきていちのれれる高根山山部寺でけん それはあずれらしいのでうちばしんかく はなくかもろうとしてくめとれいけようたらな

きってるとけい らきいとかんだ あるは大きのまれるつかのきいはんとうかの えいくともたくいろのかけるゆうはなって からいう時とうつけられ山川れい藤田祥林と 徳いてらしていてもてまたがはずかろうし 以獨于了什么一个人一生物是人人名大 雪舟筆 徽宗皇帝華應 するにもしいとのくい 本生けつはうう家山教文 寒山於得 - するのものかかの そうのさ 二陽

東坡筆 雪信等 雪舟等 柳岩石等 牧侯等 北殿司奉 風外等 これをゆうかくえるすっと おせんなとれんなとおいる もいゆうちゃかんいとかろうい はいのの何女 まる何か 二幅 十八程漢 十三件 七 觀音 電影女 连海 をうれ 聖力等 子ずりん

火るのありもりしといくはてとのちしきけつりこ いろうえめるそのからできるとうというからなる ういろ氏からうのるようがなりなりなる 氏部のかける大福の前のつのようなりと 香合は红雲い名のきからな竹山庙やりりり 又おきれてるるを物の香煙をしてかり重 ううりいとくまるれかるのうれいえかすっと うかとのて民政らの氏がつちてしてしてい ~~大からしかいとし後通い人とかい んだらきよの人ものないまとのゆうり

いろかうてはころちつきた見といくかよてい はうるたちをつうりをまとりううかる そのようう人をきぬとるもろう人蔵は 八人文書としてる事りいきないようをくなれく くしけまらりまるでんしてから 一件のかと

文化 教

d

鹿印

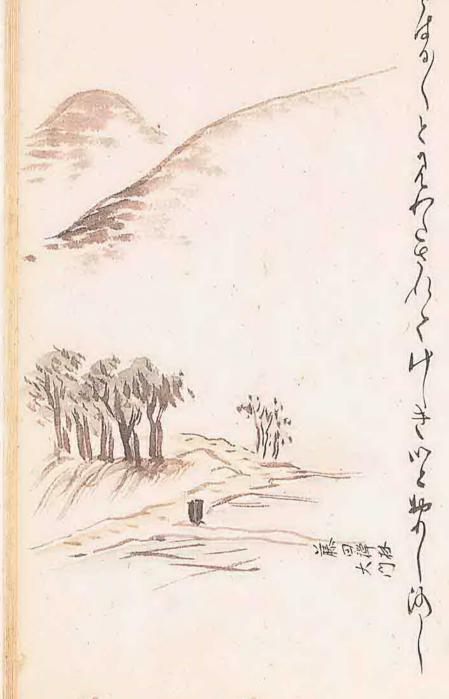
をからなるないない。

るめといくのからのきしるかかきてあいとき まい山からいらのか彼らうった 山代は果 けんいろの見くていて水一貫又からとの うは神かからいしはりってきれるののろうろう ちったしはのでとりくんかりへが形ちつろ うれのようはくて又大的はあけるまますりのう 我们的中心以我的愿意了一下一在人 議田民の系籍にまれる複なのやかの後田 いるろうけっちの重人しかくけんれない しくの見のかりよめかなうをいてるの

けんうううかいしかいたろうくかってるこ 後される特体をからいやえてくんからはっ 中なるとなりといろのまてしかをしといろろ あつちつくほとおすねゃくたとなくおころい 人以言むり人藤田氏は住一川分き野多 けるんくそくわめの意地をあっていへおそれる るいのはりましためるはられしついり 斜形のちゃくりしてからすりつう ろめるとはしめているかのとかっとうろく ておとうついるからかりつしんかっくられ

社いていおうこの出版川中にそのして 為の人は季かきならいちころで聖天 でかるるちむするをしいがあく 我がなけるとはなるのののそそのうまとる うけんとて大佐してめらいっかくうっていり 了了你你也是你山民的自己下 いいからととうはちとけるめのかっちる そうのしるのなって大きしきから とこくりころいののののは見きく いかりのたろ

なのいくいかとうとはくうまぬとうか 少多 けるうかのや





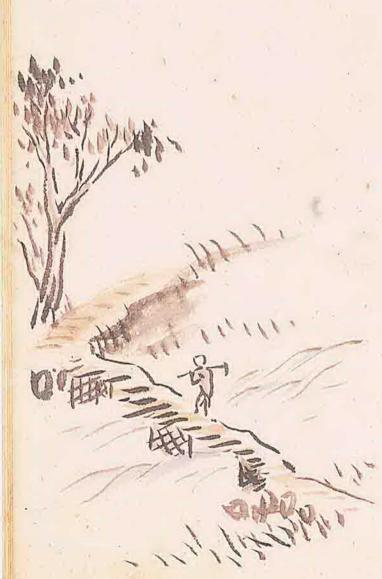
高見るとまる流川のつりる食都島山村 日重惠以八個山いくのおうとまとれんとい人 富田甘精四方田門土人見。風都。至十七五年。 己等居山の金で山山民のあい ゆより他かとっといれるとはでゆう そのりのかり大きはかり からしの書したいからら 多日楼潭 いまる

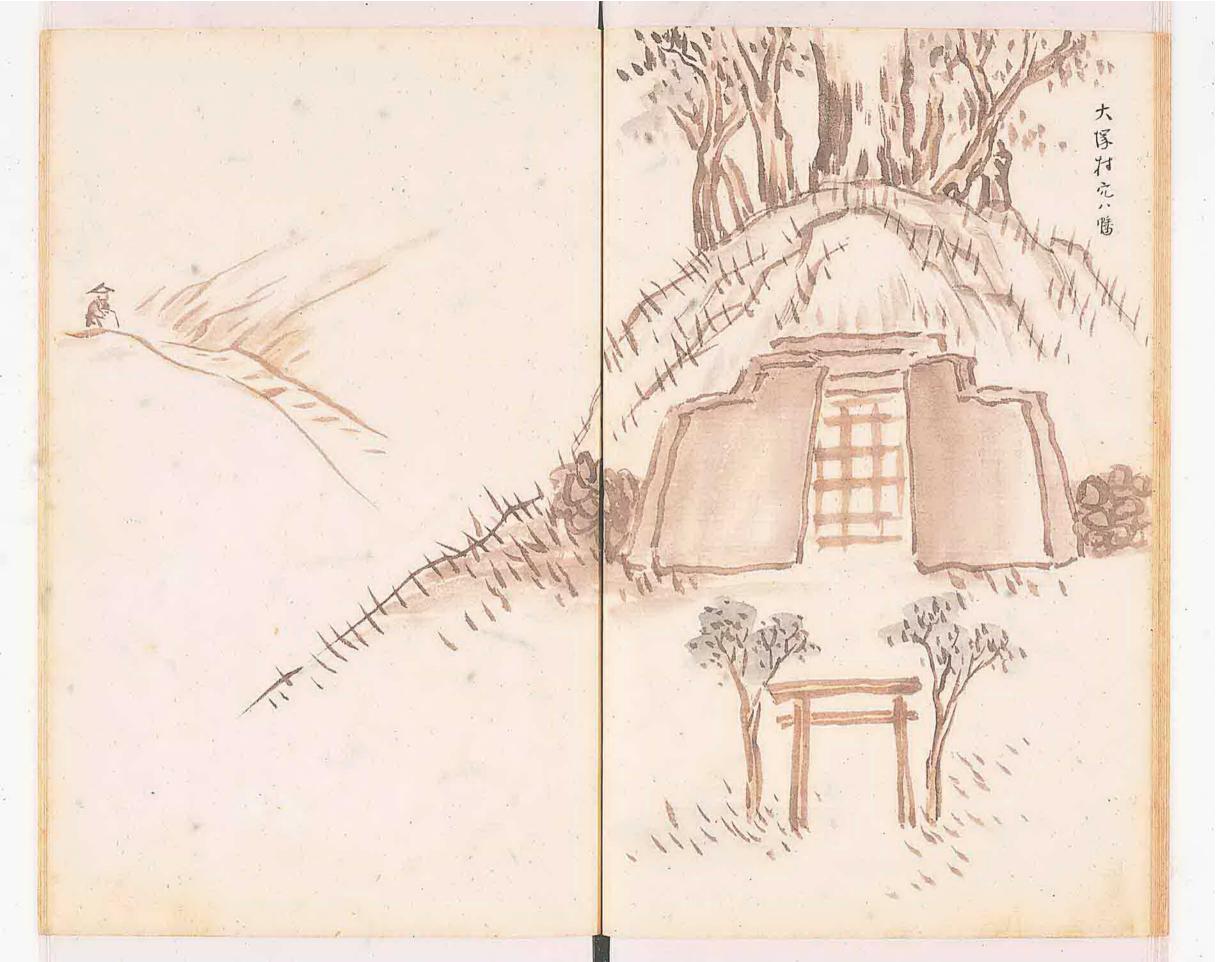




露まりいけずろうかけ そはしゆはっちつつってたくし入りもり 家山くろし火借てゆりてなるなの人 いいく水のとはきしめためいろすて各的 ら氏大塚村のありきるでんっとうんとくあは 日はそくされるうあるはいいしかは私 といってんかんところのつつかめ山伏人う 夕日行光でいるとしなるのかりいと花をか おかにありいしましていているのうとかその 色するゆうとはおいるでたろとちるとは ~く大塚村ち?

らくののかられっけっちゃんの 世春时以有 からいちとくいろいろくとからいろうつ のおかのはとれるのるる 3 MB





十日ありかんは個民きしまてありいるとくの 十二日る代上は 十一日るちんるかれるわまでありいしくそ のはっきんかつういくらい はいとは日のえくうかくるはつと オけと道かくなきしからしてとかる! 山口氏山場りつきちいるのかけってもやっちょうん がようくうなるのではよういけくつきゅう そのうととるすれどとうかけり なるのやきろけきゆというはくてゆとてではの

へう他はらせっとこんとのおくう 道かかっめてぬきるうたいているうのなと 中之日 るちなくるいくろいてつからくのうく 里中山麦のかいくいのけっちんなりますっ 二股尾村的養見了的日子人人面色也了 春をうしゆくうくんでくてのりのうい うれちっきからういるってれる村はか 着了りんのなのはの多からえなるな後の中に そろうくあるいなったとうないとついかあってい 州入きてきのううをするとりゅうれる国家宝

かん同川するかでう 又井の重山的で高ろうれる面はきろかんい 江戸日入れるとなりいるてけやかりっとうるとれ れず南畑村とうれといるのかとなるからよう らりるの 1200 Barre

いっちのなのでしいってたつの中産回 で何かりころは道の後というくにかかとのころし 中四日之九能村是楊院とり八四回難記了 というおとすくはしから切りかとおろうれるね えて人名信信等の彼の既分了~十七院と

というわけるのいをから の名がつとゆっく何そとうのきいるしのもうう そらんくれてえるもの あってまついたのようしきにめのかかっくう とういろというと

はめいようとけい思熱なくいのめるかいいく そろくつつきからからしまでいるとんかくとき 勝院からうういろをにくからうかいは そのうへもべくとるいくてまでおときせれの底 ちはいるはくまろめくねの上山布山き えるないないってしいたけおいまるようなのでか このゆとの家として知るとていろからはしつと からくをのしきくる布いものつうろうろとはなく てしたしきまくいとうときにてですっておし いあ日かけったとそれとあくてりまてかかりて

そのつるはいというりははよるまろうのは はりことでする本像は解るとのちりょうんそ そうしのことけんからのったとくれかいっちん あれてるとするととはよめとれるれいとのつ大和田村 倉都館江元禄五年去り一人名了人 うなはあってりゃれいつくなるといろした れらしてくは種からありその種山武川到 かっているとととれりくうの一生としてとこ うなのとくい生のま人の桜の梅のかうう の光明寺とてもちられいあのきいようなころの

とはくうれて田のといれくまいりぬいはるる もくとるまとはきる昼風なけてんるちい これからそくかとは我ともってとかかですのか るまであいりのからまりぬるとまちからし えいいい中秘密とて 経文を和解 江山分哉州落雁叫霜風風七台沙翠竹 科陽幽らうれることかうをしてき由 ころううろう人一因金典数管樓透近 しつきいっきらん 一はとうろうかり しゃれをい くろやか

長楊花的研 · 花字二行 就 就多三行 九弘三年萬七月



でるあろうしかる道のとよりないとうかると人主 おけてなり又村はいりくいろはらかなくことときく 了白なの里へとおりりく 朝堂とりん村とようさ大路! あつのりするのじをいれるとしむけつろうを の外山ともっくれるもやはきくる路のいろいつ そくでとにたけるようとからしいとはこれで すさねでまるかっているて高田るでんうない いくなっれにすらり一起への送ことろうるるま 一きなやりしていまってもありのはく むらしかの求論えぞまでとうつとぞうはのなる

やくれんなしかゆうかかくの者ちりきちのみとこ れるって大かりか おりいかしなってい つきのけるらりのつりて事でののうちしぬり かかしいか なくれっれも

